



資料②

第2期いの町まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シート



〔目次〕

- 基本目標 1 . . . 3 ページ～ 4 4 ページ
- 基本目標 2 . . . 4 5 ページ～ 5 8 ページ
- 基本目標 3 . . . 5 9 ページ～ 7 6 ページ
- 基本目標 4 . . . 7 7 ページ～ 8 3 ページ

基本目標1 産業活性化と安定した雇用を創出する

基本的方向	連番	担当課	具体的な施策(詳細)	単位	R2目標値	R2実績値	R3目標値	R3実績値	総合評価	R6(最終年度)時点	累計
(1)地産の強化を図る (ア)農業の振興を図る	1	産業経済課	利用権新規設定数	件	10	27	10	15	◎	10	
	2	産業経済課	農地中間管理機構利用数 出し手(件数)	件	5	2	5	0	△	5	
	3	産業経済課	農地中間管理機構利用数 出し手(面積)	ha	1	0.45	1	0	△	1.0	
	4	産業経済課	農地中間管理機構利用数 受け手(件数)	件	3	1	3	0	△	3	
	5	産業経済課	農地中間管理機構利用数 受け手(面積)	ha	1.2	0.25	1.2	0	△	1.2	
	6	産業経済課・吾北産業課	中山間地域等直接支払集落協定締結数	集落	18	17	19	17	△	18	
	7	産業経済課・吾北産業課	中山間地域等直接支払集落協定面積	m ²	1,448,032	1,192,587	1,448,032	1,200,200	△	1,448,032	
	8	産業経済課	多面的機能支払対象組織数	組織	2	2	2	2	○	2	
	9	産業経済課・吾北産業課	集落営農組織数	組織	12	1	12	11	△	12	
	10	吾北産業課	作業受託面積	ha	15	19	15	21	◎	15	
	11	産業経済課	農業次世代人材投資資金(経営開始型) 夫婦型	組	1	0	1	0	△	3	○
	12	産業経済課	農業次世代人材投資資金(経営開始型) 単独型	名	1	0	2	1	△	7	○
	13	産業経済課	高知県農業協同組合取扱高 伊野支所 生姜	千円	255,000	291,450	255,000	248,903	△	255,000	
	14	産業経済課	高知県農業協同組合取扱高 伊野支所 里芋・白芽芋	千円	6,025	3,513	6,025	3,640	△	6,025	
	15	吾北産業課	高知県農業協同組合取扱高 吾北支所 柚子	千円	35,000	31,914	35,000	27,256	△	35,000	
	16	吾北産業課	高知県農業協同組合取扱高 吾北支所 わさび	千円	4,500	3,610	4,500	3,674	△	4,500	
	17	本川産業建設課	本川きじの販売額	千円	32,927	14,210	32,927	12,969	△	32,927	
	18	吾北産業課	森の小さなお菓子屋さん	%	110	87	110	80	△	110	
	19	吾北産業課	吾北物産出荷協議会の売上	%	105	90	105	81	△	105	
	20	産業経済課	有害鳥獣捕獲数	頭(羽)	2,400	1,900	2,400	1,590	△	2,400	
	21	産業経済課	電気柵設置数	件	40	59	40	40	○	40	
	22	産業経済課・吾北産業課・本川産業建設課	狩猟免許取得補助数	件	10	10	10	10	○	10	
	23	産業経済課・吾北産業課	新規就農者数	人	4	1	8	3	△	20	○
	24	産業経済課・吾北産業課	新規就農研修生	人	2	1	2	2	○	6	○

(イ) 林業の振興	25	森林政策課	原木生産量	m ³ 以上	-	(暫定値) 28286	-	(暫定値) 31861	評価なし	50,000	
	26	土木課・吾北建設課・本川産業経済課	林道整備(開設)	m	1,400	1,171	1,900	2,109	◎	4,000	○
(ウ)ものづくりや地元産業の振興	27	産業経済課	新規立地件数	件	-	0	-	0	評価なし	1	○
	28	産業経済課	中心市街地 新規開業事業所数	事業所	2	2	2	8	◎	7	○
	29	産業経済課	伊野製紙工業会会員の売上	百万円	23,000	23,108	23,000	24,290	◎	23,000	
	30	産業経済課	高知県手すき和紙協同組合・紙の博物館の売上	万円	1,700	747	1,700	829	△	1,700	
	31	産業経済課	手すき職人数	人	7	6	7	6	△	7	
(エ) 地産地消の徹底	32	産業経済課、吾北産業課、本川産業建設課	直販店の販売額	万円	27,270	25,400	27,270	25,687	△	27,270	
	33	教育委員会	学校給食の食材における地場産物の活用割合(金額ベース)	%	65	62	65	58	△	65	
(2) 外商の強化を図る	34	産業経済課	体験型プログラム参加人数	人	26,599	14,489	29,546	18,612	△	30,440	
	35	産業経済課	体験料収入	千円	50,799	32,065	58,141	38,621	△	59,903	
(3) 雇用の創出を図る	36	産業経済課・吾北産業課	新規就農者数	人	4	1	8	2	△	20	○
	37	産業経済課	新規就農研修生	人	2	1	2	2	○	6	○
	38	森林政策課	新規林業就業者	人	-	5	-	11	評価なし	15	○
	39	森林政策課	新規林業就業者への研修支援	人	-	12	-	28	評価なし	55	○
	40	総合政策課	大学等との連携した事業展開検討	件	3	2	3	1	△	3	

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

1

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	利用権新規設定数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★利用権新規設定数	10	件	6	件	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	10	10	10	10	10	件
実績値	27	15				件
目標に対する達成率	270%	150%				単年度目標
基準値に対する増減率	350%	150%				
評価	◎	◎				
PLAN:取組内容	担い手等、耕作意欲のある農業者に農地を集約するため、担い手の意向等を調査し利用権設定数、農地中間管理機構利用数の目標達成を目指す。 (利用権設定等促進事業・農地中間管理事業)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	沖田地区水利組合の事業説明会(地元参加者21名)にて説明を行い、目標値を超える結果となった。					
CHECK:分析	窓口や現地での相談、地元説明会等での周知により目標達成したと思われる。					
ACTION:今後の対応	引き続き基盤整備や農業補助制度の説明会の中で当制度についても周知を行い、目標数値達成を図る。					

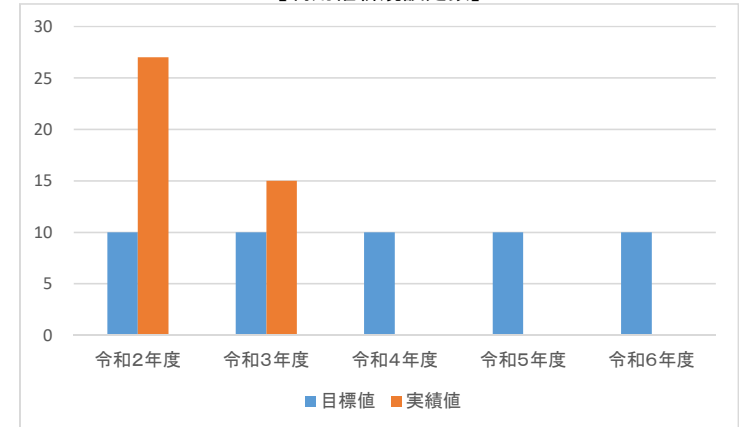
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【利用権新規設定数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

2

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	農地中間管理機構利用数 出し手(件数)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★農地中間管理機構利用数 出し手(件数)	5	件	0	件	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	5	5	5	5	5	件
実績値	2	0				件
目標に対する達成率	40%	0%				単年度目標
基準値に対する増減率	200%	0%				
評価	△	△				
PLAN:取組内容	担い手等、耕作意欲のある農業者に農地を集約するため、担い手の意向等を調査し利用権設定数、農地中間管理機構利用数の目標達成を目指す。 (利用権設定等促進事業・農地中間管理事業)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	沖田地区水利組合の事業説明会(地元参加者21名)にて説明を行い、相談はあったが結果的に利用権設定により解決するなどにより実績は0となった。					
CHECK:分析	相談は数件あったが機構の借受基準にそぐわない案件や耕作者に伝手がある場合が多く、利用権設定の対応となった。					
ACTION:今後の対応	引き続き基盤整備や農業補助制度の説明会の中で当制度についても周知を行い、目標数値達成を図る。					

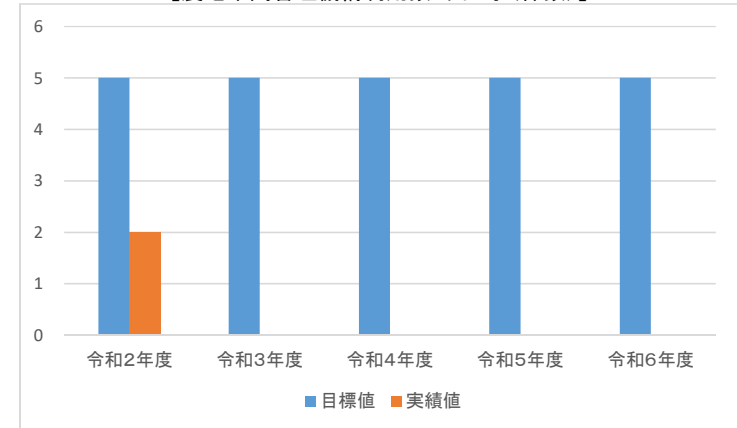
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【農地中間管理機構利用数 出し手(件数)】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

3

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	農地中間管理機構利用数 出し手(面積)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★農地中間管理機構利用数 出し手(面積)	1	ha	0	ha	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	1	1	1	1	1	ha
実績値	0.45	0				ha
目標に対する達成率	45%	0%				単年度目標
基準値に対する増減率	45%	0%				
評価	△	△				
PLAN:取組内容	担い手等、耕作意欲のある農業者に農地を集約するため、担い手の意向等を調査し利用権設定数、農地中間管理機構利用数の目標達成を目指す。 (利用権設定等促進事業・農地中間管理事業)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	沖田地区水利組合の事業説明会(地元参加者21名)にて説明を行い、相談はあったが結果的に利用権設定により解決するなどにより実績は0となった。					
CHECK:分析	相談は数件あったが機構の借受基準にそぐわない案件や耕作者に伝手がある場合が多く、利用権設定の対応となった。					
ACTION:今後の対応	引き続き基盤整備や農業補助制度の説明会の中で当制度についても周知を行い、目標数値達成を図る。					

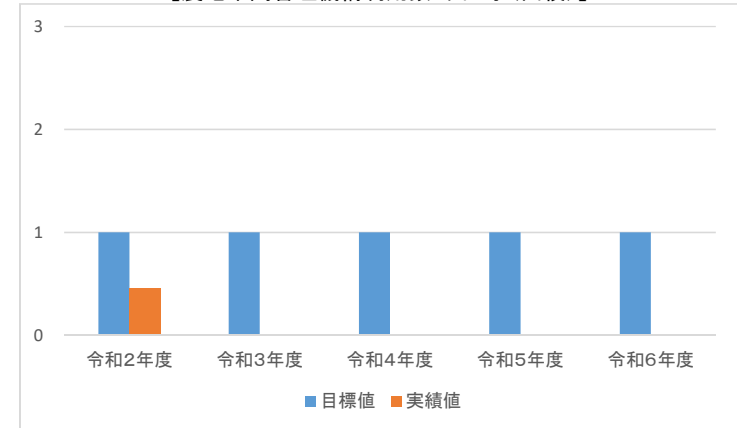
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【農地中間管理機構利用数 出し手(面積)】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

4

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	農地中間管理機構利用数 受け手(件数)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★農地中間管理機構利用数 受け手(件数)	3	件	0	件	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	3	3	3	3	3	件
実績値	1	0				件
目標に対する達成率	33%	0%				単年度目標
基準値に対する増減率	100%	0%				
評価	△	△				
PLAN:取組内容	担い手等、耕作意欲のある農業者に農地を集約するため、担い手の意向等を調査し利用権設定数、農地中間管理機構利用数の目標達成を目指す。 (利用権設定等促進事業・農地中間管理事業)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	沖田地区水利組合の事業説明会(地元参加者21名)にて説明を行い、相談はあったが結果的に利用権設定により解決するなどにより実績は0となった。					
CHECK:分析	相談は数件あったが機構の借受基準にそぐわない案件や耕作者に伝手がある場合が多く、利用権設定の対応となった。					
ACTION:今後の対応	引き続き基盤整備や農業補助制度の説明会の中で当制度についても周知を行い、目標数値達成を図る。					

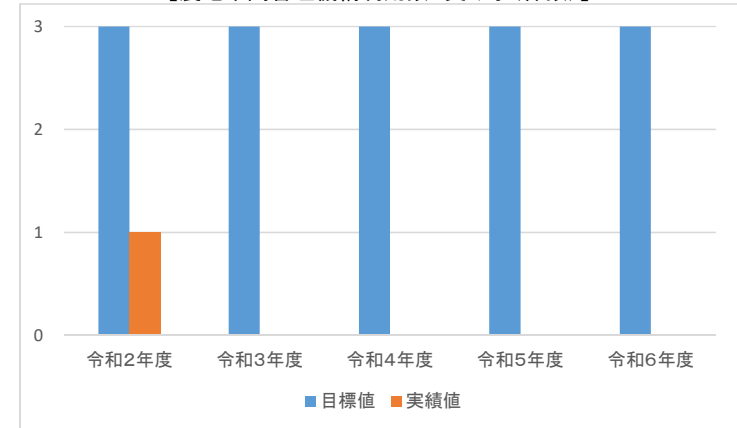
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【農地中間管理機構利用数 受け手(件数)】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

5

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	農地中間管理機構利用数 受け手(面積)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★農地中間管理機構利用数 受け手(面積)	1.2	ha	0	ha	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	ha
実績値	0.25	0				ha
目標に対する達成率	21%	0%				単年度目標
基準値に対する増減率	25%	0%				
評価	△	△				
PLAN:取組内容	担い手等、耕作意欲のある農業者に農地を集約するため、担い手の意向等を調査し利用権設定数、農地中間管理機構利用数の目標達成を目指す。 (利用権設定等促進事業・農地中間管理事業)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	沖田地区水利組合の事業説明会(地元参加者21名)にて説明を行い、相談はあったが結果的に利用権設定により解決するなどにより実績は0となった。					
CHECK:分析	相談は数件あったが機構の借受基準にそぐわない案件や耕作者に伝手がある場合が多く、利用権設定の対応となった。					
ACTION:今後の対応	引き続き基盤整備や農業補助制度の説明会の中で当制度についても周知を行い、目標数値達成を図る。					

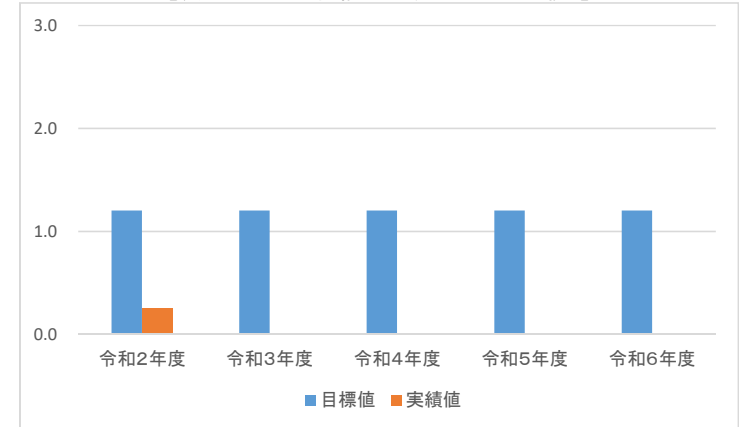
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【農地中間管理機構利用数 受け手(面積)】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

6

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1)	地産の強化を図る					
具体的な施策	ア	農業の振興					
	①	農地の保全管理					
項目	★	中山間地域等直接支払集落協定締結数					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度		
	令和6年度				実績等		
産業経済課・吾北産業課	★中山間地域等直接支払集落協定締結数	18	集落	20	集落		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値		18	19	18	18	18	集落
実績値		17	17				集落
目標に対する達成率		94%	89%				単年度目標
基準値に対する増減率		-15%	-15%				
評価		△	△				
PLAN:取組内容	中山間地域における生産条件に関する不利を補正すると共に農業・農村の有する多面的機能の発揮を維持・促進するため、四期対策で撤退した集落協定を中心に集落活動に対する意向を聴取し、目標達成を目指す。						
DO:実績 (事業内容等を記載)	既存の協定に対しては協定書の作成支援等を実施することによって事務負担軽減に務めたが、新たな協定締結についての意向がなく、目標値には届かなかった。						
CHECK:分析	条件不利地域における農業生産条件の不利を補正することを目的の一つとして掲げる制度であるが、高齢化や流出等により担い手が減少し、代表者として協定を牽引する人材が不足しているものと見込まれる。						
ACTION:今後の対応	現在の農村政策は産業振興の視点だけでなく地域づくり・地域振興の観点で改正が進められているため国の動向を注視しながら協定を牽引する担い手の確保に努めていく。						

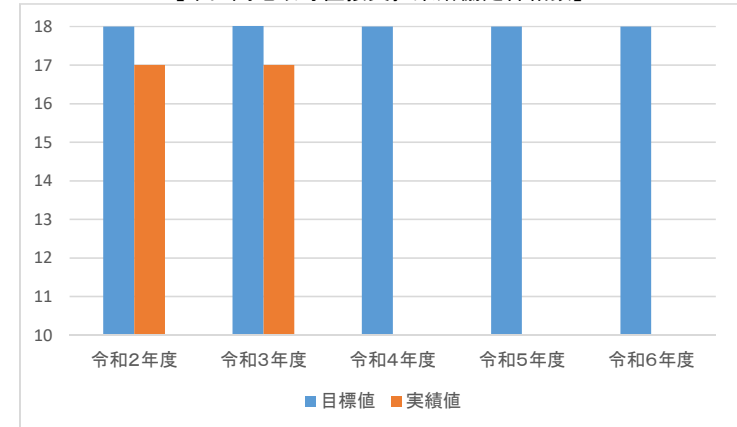
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【中山間地域等直接支払集落協定締結数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

7

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1)	地産の強化を図る					
具体的な施策	ア	農業の振興					
	①	農地の保全管理					
項目	★	中山間地域等直接支払集落協定面積					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度		
	令和6年度				実績等		
産業経済課・吾北産業課	★中山間地域等直接支払集落協定面積	1,448,032	m ²	1,520,900	m ²		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値		1,448,032	1,448,032	1,448,032	1,448,032	1,448,032	m ²
実績値		1,192,587	1,200,200				m ²
目標に対する達成率		82%	83%				単年度目標
基準値に対する増減率		-22%	-21%				
評価		△	△				
PLAN:取組内容	中山間地域における生産条件に関する不利を補正すると共に農業・農村の有する多面的機能の発揮を維持・促進するため、四期対策で撤退した集落協定の農地や担い手を、5期対策の参加協定に取り組み、目標値の達成を目指す。						
DO:実績 (事業内容等を記載)	各協定に追加農地の確認を行い、対象農地の拡大に努めた。						
CHECK:分析	既存の協定への新規参加等に伴い対象農地が追加され、前年度と比して若干の面積増となっているが、現状維持の範囲に留まっている。						
ACTION:今後の対応	現在の農村政策は産業振興の視点だけでなく地域づくり・地域振興の観点で改正が進められているため国の動向を注視しながら協定を牽引する担い手の確保を図り、対象農地の拡大に努めていく。						

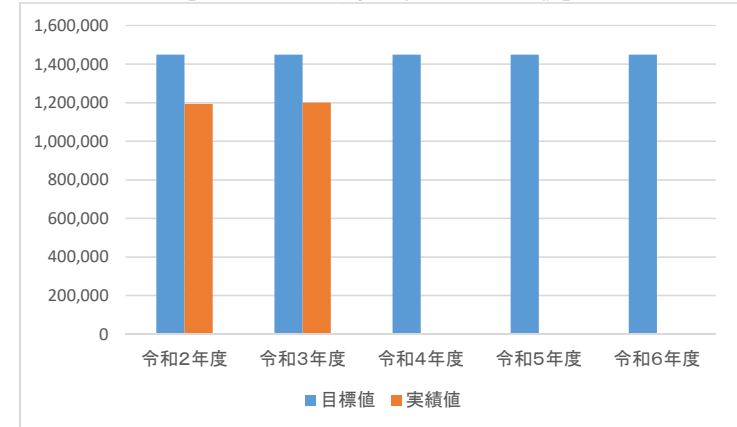
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【中山間地域等直接支払集落協定面積】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

8

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	多面的機能支払対象組織数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★多面的機能支払対象組織数	2	組織	3	組織	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2	2	2	2	2	組織
実績値	2	2				組織
目標に対する達成率	100%	100%				単年度目標
基準値に対する増減率	-33%	-33%				
評価	○	○				
PLAN:取組内容	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動を支援(多面的機能支払制度)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	2組織が継続して活動を行った。					
CHECK:分析	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を行うことができたものの、活動を行うにあたり地域リーダーの不在や高齢化が原因となっている。					
ACTION:今後の対応	今後も引き続き、個別の説明会の開催などにより活動組織の増加を図る。また現在活動している組織の面積、交付金額の増を目指す。					

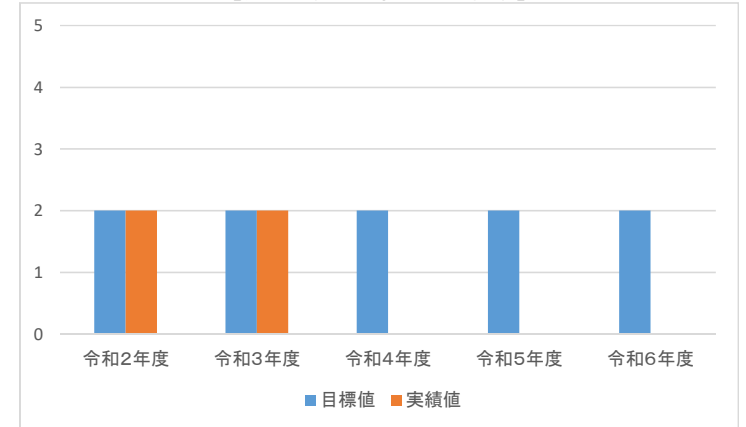
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【多面的機能支払対象組織数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

9

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	集落営農組織数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課・吾北産業課	★集落営農組織数	12	組織	11	組織	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	12	12	12	12	12	組織
実績値	11	11				組織
目標に対する達成率	92%	92%				単年度目標
基準値に対する増減率	0%	0%				
評価	△	△				
PLAN:取組内容	定例会等に参加し、そこで持ち上がった課題や活動方針に対しサポートを行い、組織の存続に取り組む。 また、県の農業振興センターと協力し、組織発足を希望する集落の掘り起こしを行う。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	現組織の存続に留まった。					
CHECK:分析	各組織とも高齢化とリーダー不足が課題である。					
ACTION:今後の対応	今後の担い手である新規就農者や認定農業者、篤農家を中心にリーダーの発掘を行う。また、育成にあたり、県の農業振興センターやJAとサポートを行うとともに、県が開催する研修の受講を積極的に進めていく。					

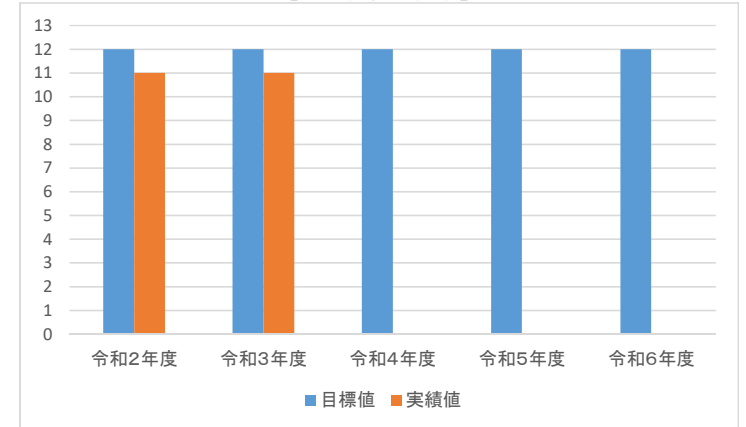
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【集落営農組織数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

10

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	作業受託面積				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
吾北産業課	★作業受託面積	15	ha	15.9	ha	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	15	15	15	15	15	ha
実績値	19	21				ha
目標に対する達成率	127%	140%				単年度目標
基準値に対する増減率	19%	32%				
評価	◎	◎				
PLAN:取組内容	地域農業の維持及び活性化に向けて集落営農組織等を育成し、併せて農業生産の共同活動に取り組む集落営農組織の機械設備等への支援を行うことにより、目標達成を目指す。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	農事組合法人上東で実施されており、令和3年度の作業受託面積は21haとなった。					
CHECK:分析	田植から稲刈まで、ほぼ全ての作業において受託面積が増加した。また、高齢化などの理由により耕作できなくなった農地を法人が借り受け水稻を栽培し、農地の保全が図られた。					
ACTION:今後の対応	農地の貸借契約や農業機械の更新計画等、農協、県農業振興センターと連携し支援していく。					

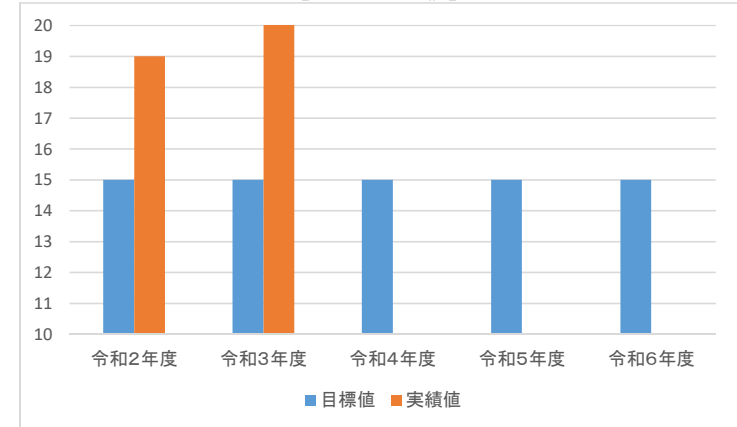
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【作業受託面積】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

11

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	農業次世代人材投資資金(経営開始型)夫婦型				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★農業次世代人材投資資金(経営開始型)夫婦型	3	組		3	組
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	1	1	2	2	3	組
実績値	0	0				組
目標に対する達成率	0%	0%				累計目標
基準値に対する増減率	-100%	-100%				
評価	△	△				
PLAN:取組内容	新規就農者の確保・維持、実践研修などによる営農定着の支援(新規就農者支援事業)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	夫婦による新規就農者0組					
CHECK:分析	夫婦による新規就農希望者はいたが、制度の要件の対象とならなかった					
ACTION:今後の対応	関係機関と連携を密にし情報収集に努め夫婦での就農と併せて制度活用に繋げていく					

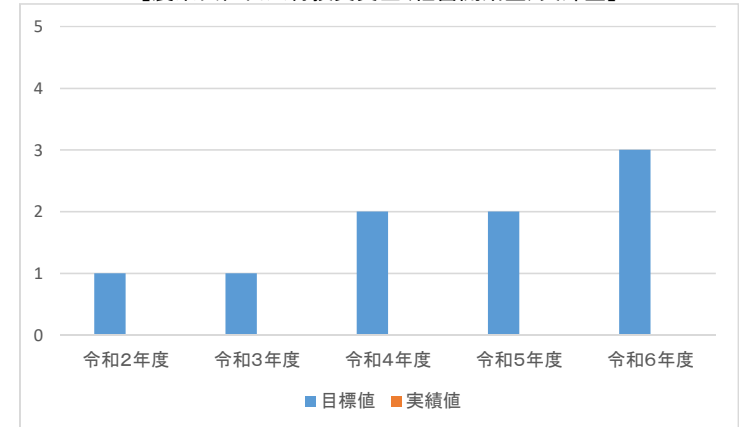
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【農業次世代人材投資資金(経営開始型)夫婦型】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

12

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1)	地産の強化を図る					
具体的な施策	ア	農業の振興					
	②	農業経営安定化の推進					
項目	★	農業次世代人材投資資金(経営開始型)単独型					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度		
	令和6年度				実績等		
産業経済課	★農業次世代人材投資資金(経営開始型)単独型	7	組	1	組		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値		1	2	5	6	7	組
実績値		0	1				組
目標に対する達成率		0%	50%				
基準値に対する増減率		-100%	0%				累計目標
評価		△	△				
PLAN:取組内容	新規就農者の確保・維持、実践研修などによる営農定着の支援(新規就農者支援事業)						
DO:実績 (事業内容等を記載)	単独により新規就農者1名						
CHECK:分析	本川地域の地域おこし協力隊が期間終了にあわせて就農し、制度の活用をした						
ACTION:今後の対応	関係機関と連携を密にし情報収集に努め就農と併せて制度活用に繋げていく						

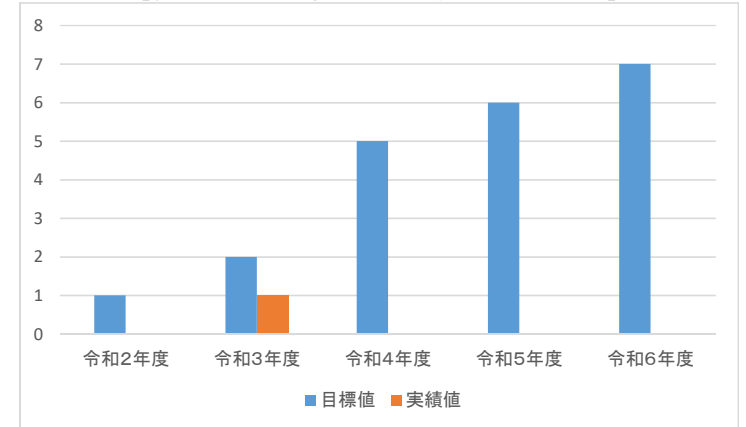
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【農業次世代人材投資資金(経営開始型)単独型】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

13

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	高知県農業協同組合取扱高 伊野支所 生姜				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★高知県農業協同組合取扱高 伊野支所 生姜	255,000	千円	311,403	千円	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	255,000	255,000	255,000	255,000	255,000	千円
実績値	291,450	248,903				千円
目標に対する達成率	114%	98%				単年度目標
基準値に対する増減率	-6%	-20%				
評価	◎	△				
PLAN:取組内容	生姜については、部会での研修会を開催しよりよい栽培方法などを検討し、単価増を図り、目標達成を目指す。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	目標を下回った。					
CHECK:分析	令和2年度に収穫したものを集出荷場で保存し令和3年度に商品の取扱を行っている。そのため、令和2年度の天候等が影響し昨年目標を下回ったと考えられる。					
ACTION:今後の対応	例年同様、病害虫の情報や対策の共有に加え町外の産地での視察や栽培講習会の実施により収量増加に努める。					

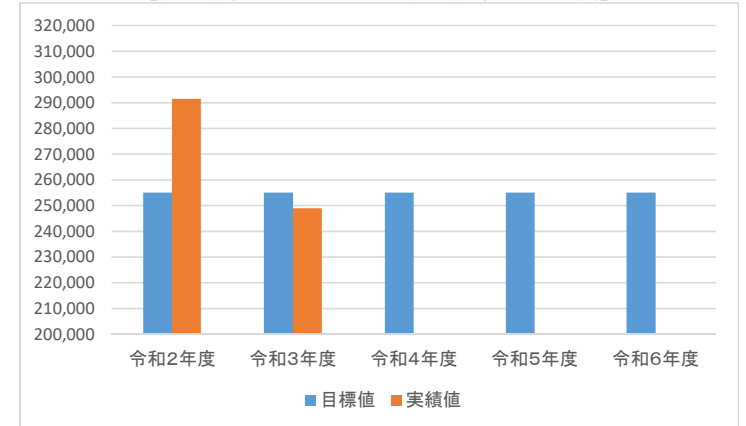
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【高知県農業協同組合取扱高 伊野支所 生姜】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	コロナによる飲食店からの需要の減少により、単価安となっている。
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

14

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	高知県農業協同組合取扱高 伊野支所 里芋・白芽芋				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★高知県農業協同組合取扱高 伊野支所 里芋・白芽芋		6,025	千円	6,023	千円
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	6,025	6,025	6,025	6,025	6,025	千円
実績値	3,513	3,640				千円
目標に対する達成率	58%	60%				単年度目標
基準値に対する増減率	-42%	-40%				
評価	△	△				
PLAN:取組内容	里芋等については、部会での研修会を開催し新しい販売方法等を検討し、目標達成を目指す。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	目標値を下回った。					
CHECK:分析	目標を下回ったが部員が増加したことにより取扱高は漸増となっている。目標値を下回る大きな要因としては栽培面積の減少である。					
ACTION:今後の対応	今後も、栽培講習会や販売促進研修により出荷量の向上に努め生産額の向上を図る。					

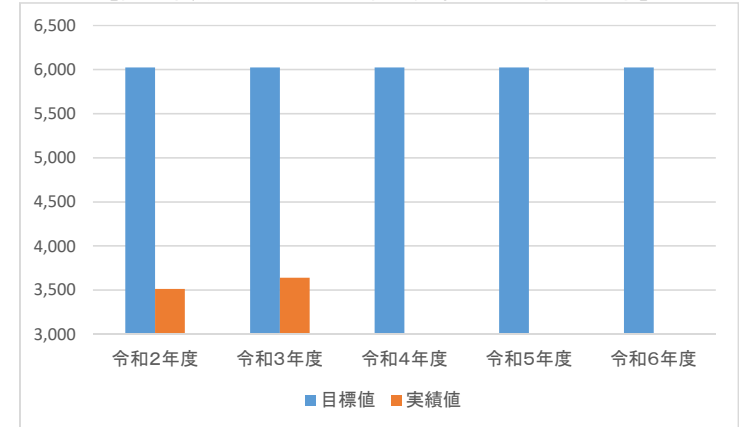
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【高知県農業協同組合取扱高 伊野支所 里芋・白芽芋】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

15

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	高知県農業協同組合取扱高 吾北支所 柚子				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
吾北産業課	★高知県農業協同組合取扱高 吾北支所 柚子	35,000	千円	42,643	千円	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000	千円
実績値	31,914	27,256				千円
目標に対する達成率	91%	78%				単年度目標
基準値に対する増減率	-25%	-36%				
評価	△	△				
PLAN:取組内容	柚子部会で研修会を開催し、玉出荷を励行することにより、単価増を図り、目標達成を目指す。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	令和2年度:230t、31,914千円 令和3年度:226t、27,256千円					
CHECK:分析	生産量は昨年度並みであったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度に引き続き単価が大きく下がり、目標額を下まわった。					
ACTION:今後の対応	生産性、玉出率の向上を図るため、県果樹試験場のトゲの少ない優良系統苗の母樹を町農業公社に導入した。 今後、県や農協との連携により、優良系統苗を普及に努め産地の強化を図る。					

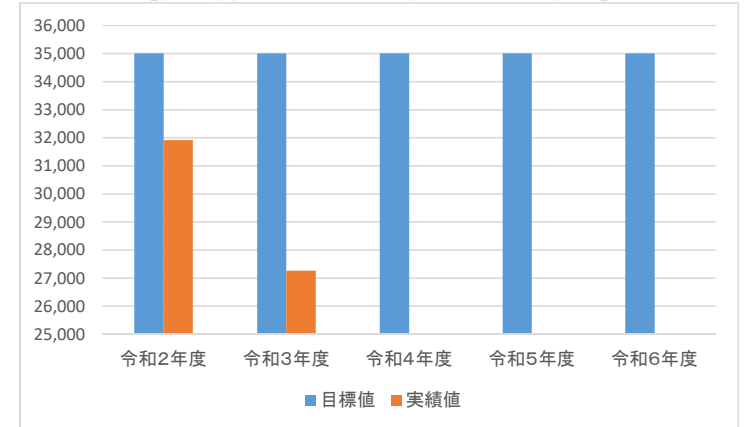
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【高知県農業協同組合取扱高 吾北支所 柚子】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

16

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	高知県農業協同組合取扱高 吾北支所 わさび				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
吾北産業課	★高知県農業協同組合取扱高 吾北支所 わさび	4,500	千円	3,909	千円	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	千円
実績値	3,610	3,674				千円
目標に対する達成率	80%	82%				単年度目標
基準値に対する増減率	-8%	-6%				
評価	△	△				
PLAN:取組内容	新規栽培者の開拓を提案型担い手確保対策とも絡めて行い、目標達成を目指す。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	令和2年度:12,850kg、3,610千円 令和3年度:13,283kg、3,674千円					
CHECK:分析	冬季の気温が例年より低く生育が悪かった。また、病害虫の発生により品質が低下した。					
ACTION:今後の対応	農協、県農業振興センターと連携により研修会を適宜実施し、適正な防除に努めることにより、秀品率、収量の向上を図る。					

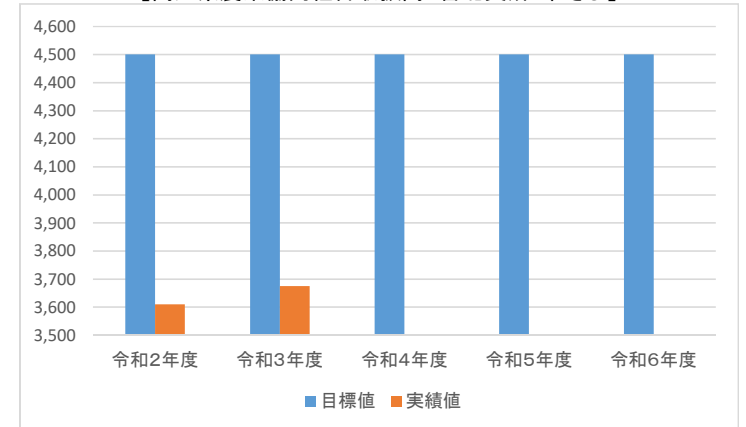
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【高知県農業協同組合取扱高 吾北支所 わさび】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

17

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	本川きじの販売額				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
本川産業建設課	★本川きじの販売額	32,927	千円	14,859	千円	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	32,927	32,927	32,927	32,927	32,927	千円
実績値	14,210	12,969				千円
目標に対する達成率	43%	39%				単年度目標
基準値に対する増減率	-4%	-13%				
評価		△				
PLAN: 取組内容	いの町本川地区の特産品である「本川きじ」の販路の拡大と顧客ニーズに対応した商品の開発に取り組み、中山間地域の基幹産業として定着させる。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	新型コロナウイルスの影響を受け需要が落ち込んでいることもあり、目標を達成には至らなかった。					
CHECK: 分析	令和3年度の販売額は新型コロナウイルスの影響を受け需要が少なかったこと、繁忙期の影響で通販を休止していたこと、きじのイメージや認知不足などが影響し、対前年度に対し1,241千円の減額となっている。					
ACTION: 今後の対応	購入者アンケート結果を分析した通販の見直し、各種商談会へ参加することによる外商の販路拡大を目指す。					

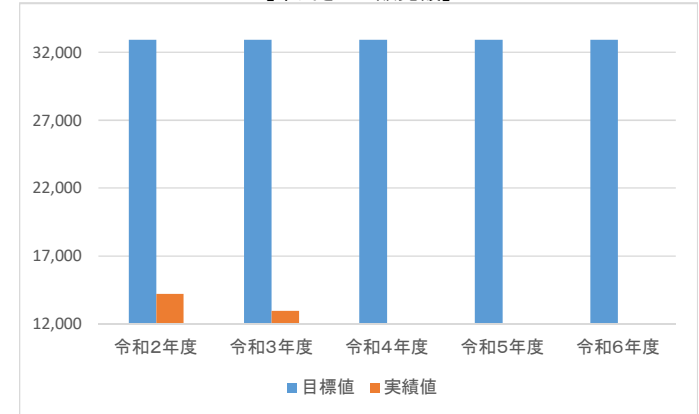
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【本川きじの販売額】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	<p>Q.. 取引先はどこか？きじのイメージや認知不足とはどういう意味か？通販を休止した理由は？</p> <p>A. 飲食店やホテルが主となっている。アンケート結果で、きじに対する食材のイメージが定着していないことが分かった。コロナ禍により生産量を調整していたが、想定以上にお歳暮としての需要があり、通販を休止した。今後は、きじの周知、販路拡大に努める。</p>
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

18

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	森の小さなお菓子屋さんの売上				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
吾北産業課	★森の小さなお菓子屋さんの売上	110	%	100	%	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	110	110	110	110	110	%
実績値	87	80				%
目標に対する達成率	79%	73%				単年度目標
基準値に対する増減率	-13%	-20%				
評価	△	△				
PLAN:取組内容	新商品の開発や既存商品の見直し、SNSによる情報発信により、目標達成を目指す。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	令和元年度売上:11,348千円 令和3年度売上:9,060千円					
CHECK:分析	季節ごとに新商品の開発、改良に取り組み、日タイインスタグラム等で新商品等の情報発信を行った。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響は大きく、実績値は80%となった					
ACTION:今後の対応	新商品の開発やSNSによる情報発信を継続し、売上増を目指す。					

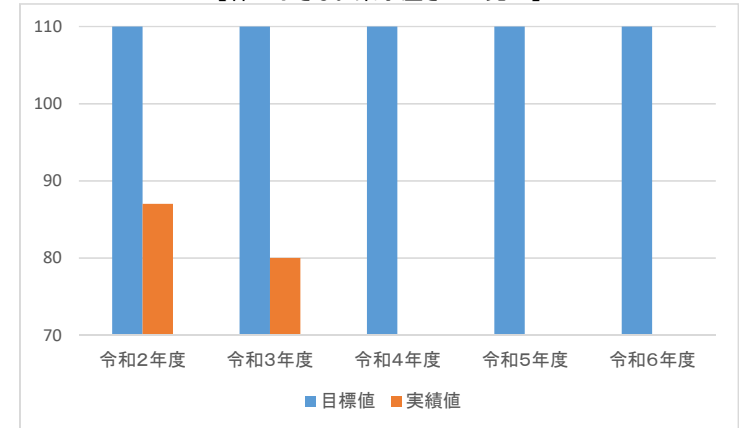
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【森の小さなお菓子屋さんの売上】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

19

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	吾北物産集荷協議会の売上				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
吾北産業課	★吾北物産集荷協議会の売上	105	%	100	%	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	105	105	105	105	105	%
実績値	90	81				%
目標に対する達成率	-14%	77%				単年度目標
基準値に対する増減率	-10%	-19%				
評価	△	△				
PLAN:取組内容	県農業振興センター、JA高知県吾北支所等関係機関の指導のもと、道の駅633美の里の売上が落ち込む冬季に販売(栽培)可能な有望品目を検討する。 また、吾北地区で就農を希望する就農前後の青年新規就農者に対しての補助、JA・県・町等の関係機関の連携によるサポートにより、地区の担い手を確保する。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	令和元年度:66,674千円 令和3年度:51,792千円					
CHECK:分析	高齢化に伴い出荷者数が減少してきている。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きく、実績値は81%となった。					
ACTION:今後の対応	POSシステムを活用するなど、栽培品目・販売方法について出荷者に対して分かりやすい情報提供をする。また、吾北地区で就農を希望する就農前後の青年新規就農者に対しての補助、JA・県・町等の関係機関の連携によるサポートを引き続き行い、地区の担い手を確保する。					

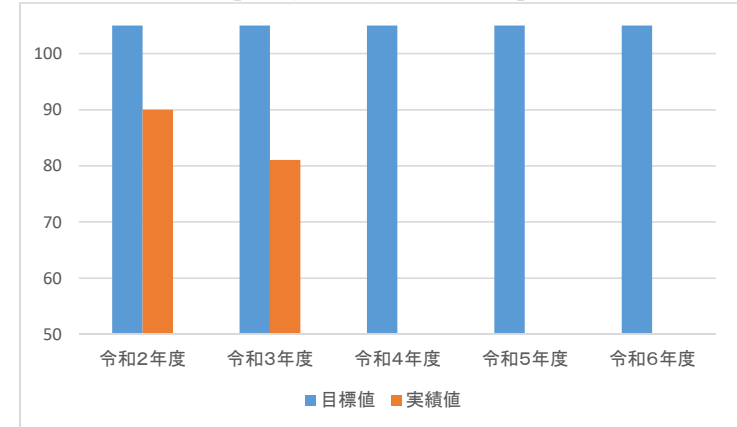
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【吾北物産集荷協議会の売上】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1 連番 20

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	有害鳥獣捕獲数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★有害鳥獣捕獲数	2,400	頭(羽)	2,156	頭(羽)	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	頭(羽)
実績値	1,900	1,590				頭(羽)
目標に対する達成率	79%	66%				単年度目標
基準値に対する増減率	-12%	-26%				
評価	△	△				
PLAN:取組内容	野生鳥獣による農林作物の被害対策として、対象有害鳥獣の捕獲に交付金・報償金を交付する。(鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業・有害鳥獣捕獲に関する報償金)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	イノシシ627頭、サル189頭、カラス386羽、シカ299頭、ハクビシン55頭、アナグマ34頭を捕獲したが前年比率約83%となり、目標値も下回った。					
CHECK:分析	目標値を下回った要因としては捕獲者の高齢化や人材の減少があげられるが、地元住民からの相談件数も少なくなっており、被害対策の効果も一定出ていると思われる。					
ACTION:今後の対応	令和3年度は猟友会長や地区担当者と連絡をとり、地元土地を所有する町外の狩猟者との面談や狩猟に興味のある人を見学に来て行ってもらうなど周知活動を行った。今後も継続して捕獲する人材の確保、周知に努める。					

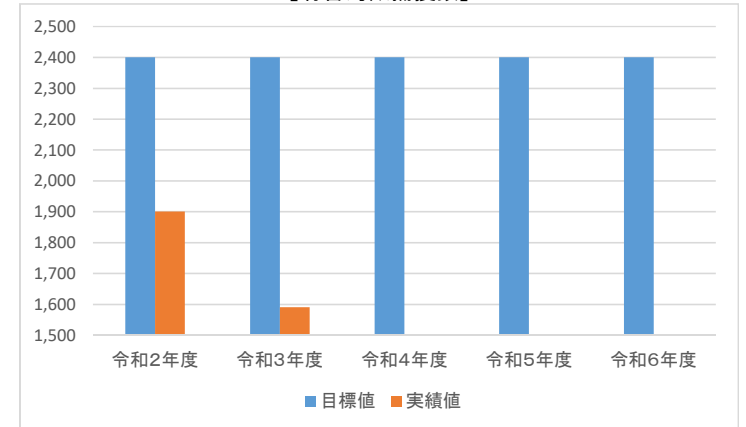
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【有害鳥獣捕獲数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

21

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	電気柵設置数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★電気柵設置数	40	件	46	件	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	40	40	40	40	40	件
実績値	59	40				件
目標に対する達成率	148%	100%				単年度目標
基準値に対する増減率	28%	-13%				
評価	◎	○				
PLAN:取組内容	農業者等、または狩猟者等が被害防止のためのトタン・電気柵等及び有害鳥獣の捕獲に必要な檻の購入費を補助(鳥獣被害緊急対策事業、鳥獣被害対策支援総合補助金)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	捕獲依頼を受けたときや被害の現地対応、広報等で周知を行った。					
CHECK:分析	口頭・広報による周知を行ったことで、目標値に達したと思われる。					
ACTION:今後の対応	今後も周知を継続し、防除による被害対策を進めていく。					

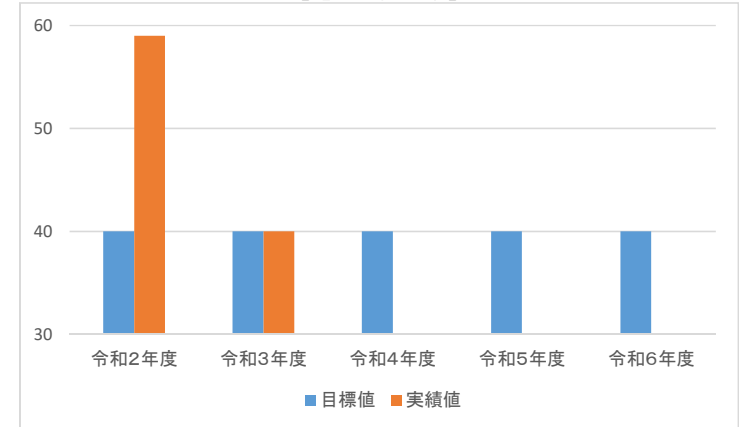
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【電気柵設置数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

22

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	狩猟免許取得補助数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課・吾北産業課・本川産業建設課	★狩猟免許取得補助数	10	件	8	件	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	10	10	10	10	10	件
実績値	10	10				件
目標に対する達成率	100%	100%				単年度目標
基準値に対する増減率	25%	25%				
評価	○	○				
PLAN:取組内容	農林水産物被害対策として、鳥獣を捕獲するために必要な狩猟免許の取得経費を補助(狩猟免許取得補助金)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	目標値と同数の実績となった。					
CHECK:分析	ポスター掲示や広報による周知により、目標値を達成したと思われる。					
ACTION:今後の対応	引き続き広報等を活用し、事業周知に努める。					

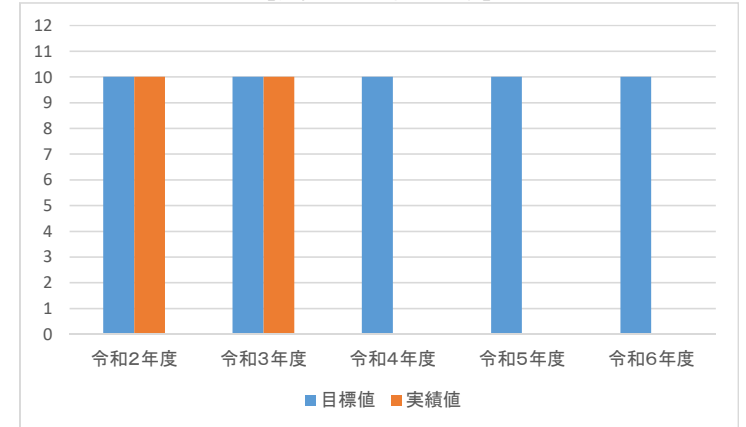
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【狩猟免許取得補助数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

23

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	担い手等の確保・育成				
項目	★	新規就農者数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課・吾北産業課	★新規就農者数	20	人	2	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	4	8	12	16	20	人
実績値	1	3				人
目標に対する達成率	25%	38%				
基準値に対する増減率	-50%	50%				累計目標
評価	△	△				
PLAN:取組内容	新規就農者の確保・維持、実践研修などによる営農定着の支援(新規就農者支援事業)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	本川地区1名、伊野地区1名、計2名が就農した。					
CHECK:分析	農地の確保や、資金の確保がむずかしく、就農につなげることができなかった。					
ACTION:今後の対応	関係機関と連携を密にし情報収集に努めるとともに、支援をおこなっていくとともに、令和3年度就農者のうち1名は就農支援制度を活用しているが、残りの1名は要件にあわなかったため活用できていないので、活用できるよう支援する。					

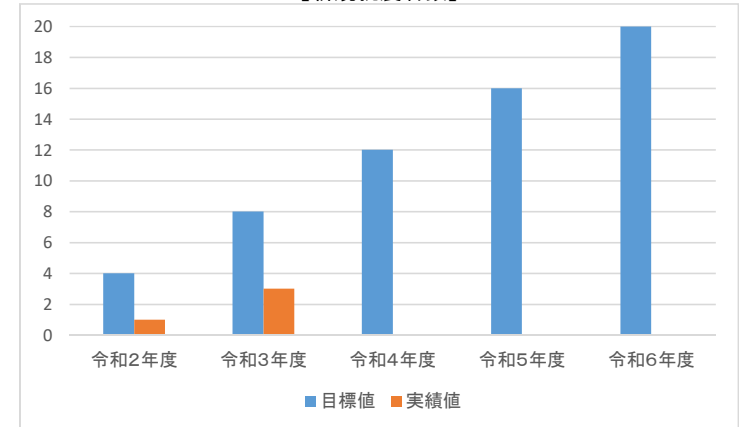
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【新規就農者数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

24

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	担い手等の確保・育成				
項目	★	新規就農研修生				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課・吾北産業課	★新規就農研修生	6	人	2	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2	2	4	4	6	人
実績値	1	2				人
目標に対する達成率	50%	100%				
基準値に対する増減率	-50%	0%				累計目標
評価	△	○				
PLAN:取組内容	新規就農者の確保・維持、実践研修などによる営農定着の支援 ((公財)いの町農業公社研修事業等) 研修手当、資金の交付(農業次世代人材投資事業等)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	(公財)いの町農業公社と、JAコスモスまるい生姜部会において、産地提案型担い手確保対策として取り組んだ結果、1名の農業研修生を確保した。					
CHECK:分析	農業公社のホームページや、高知県農業会議が発行しているチラシなどで就農希望者を募ったが1名にとどまった。					
ACTION:今後の対応	関係機関と連携を密にし情報収集に努めるとともに、さらなる周知を行い研修生の確保に努める。					

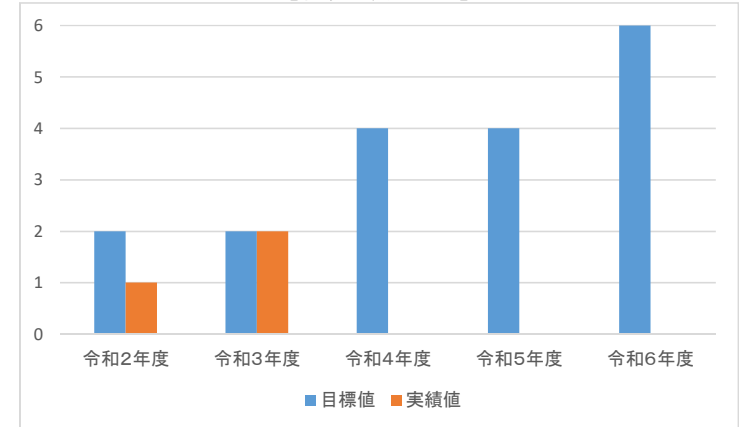
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【新規就農研修生】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

25

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	イ	林業の振興				
	①	林業の成長産業化				
項目	★	原木生産量				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:平成30年次	
	令和6年度				実績等	
森林政策課	★原木生産量	50,000	m ³ 以上	35,346	m ³ 以上	
	令和2年次	令和3年次	令和4年次	令和5年次	令和6年次	単位
目標値	暫定	-	-	-	50,000	m ³ 以上
実績値	28,286	暫定値 31,861				m ³ 以上
目標に対する達成率	57%	64%				単年度目標
基準値に対する増減率	-20%	-10%				
評価	評価なし	評価なし				
PLAN:取組内容	町産材の安定供給体制の構築(森林(もり)づくり交付金事業、「仁淀川」山の手入れで元気モリモリ事業、「吉野川」水源の森整備事業等)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	「仁淀川」山の手入れで元気モリモリ事業:搬出間伐A=28.48ha(V=2,886m ³)、森林作業道開設L=8,108m 「吉野川」水源の森整備事業:搬出間伐A=10.50ha(V=973m ³)、森林作業道開設L=1,020m 森林整備緊急対策支援事業:搬出間伐A=0ha(V=0m ³)、森林作業道開設L=0m 森林資源循環利用促進事業:皆伐A=25.97ha(V=17,451m ³) 森林(もり)づくり交付金事業:森林作業道開設L=2,450m					
CHECK:分析	海外の木材需要増により一時木材価格は上昇したが、価格の上昇により国内の木材需要は低下傾向にある。林業事業者においては素材生産から、事業維持のため原木生産を伴わない森林整備へ事業の軸を移したものと考えられる。					
ACTION:今後の対応	林業事業者の原木生産基盤の充実にに向けた支援を継続的に実施する。					

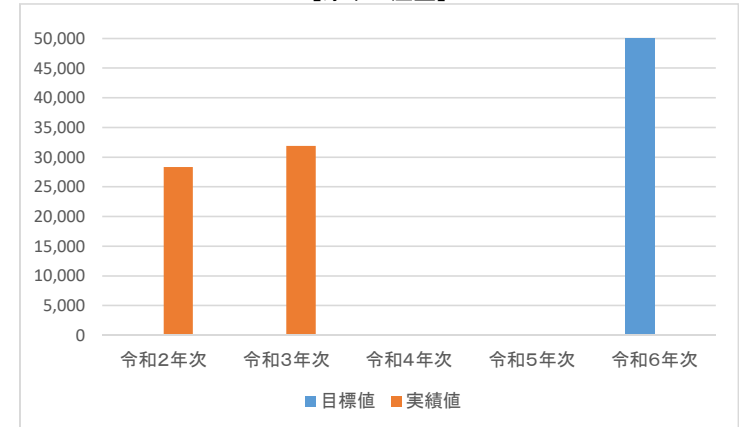
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【原木生産量】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	評価なし

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

26

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	イ	林業の振興				
	①	林業の成長産業化				
項目	★	林道整備(開設)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和2年度	
	令和6年度				実績等	
土木課・吾北建設課・本川産業建設課	★林道整備(開設)	4,000	m	1,171	m	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	1,400	1,900	2,600	3,200	4,000	m
実績値	1,171	2,109				m
目標に対する達成率	84%	111%				
基準値に対する増減率	0%	80%				累計目標
評価	△	◎				
PLAN:取組内容	造林、保育、間伐等の適切な森林管理の推進や森林整備の低コスト化を図るとともに、木材の安定供給や更なる原木増産を実現するための路網整備					
DO:実績 (事業内容等を記載)	令和2年度 ・森林環境保全整備事業(林業専用道約束田線開設工事) L=235m ・森林環境保全整備事業(林業専用道葛原山線開設工事) L=178m 令和3年度 ・森林環境保全整備事業(林業専用道葛原山線開設工事) L=56m ・森林環境保全整備事業(林道越裏門大森線開設工事) L=112m ・森林基幹道開設事業(林道土居柳野線開設工事) L=280m ・山のみち地域づくり交付金事業(林道大野～高樽線開設工事) 1工区+2工区 L=490m					
CHECK:分析	着実な林内路網整備は実現し、目標値としている開設延長を達成できた。					
ACTION:今後の対応	適正な森林管理や木材の安定供給など森林資源を有効に活用するため、新たな林内路網整備を計画するなど、更なる林業振興の発展に向けて路網整備の推進を図る。					

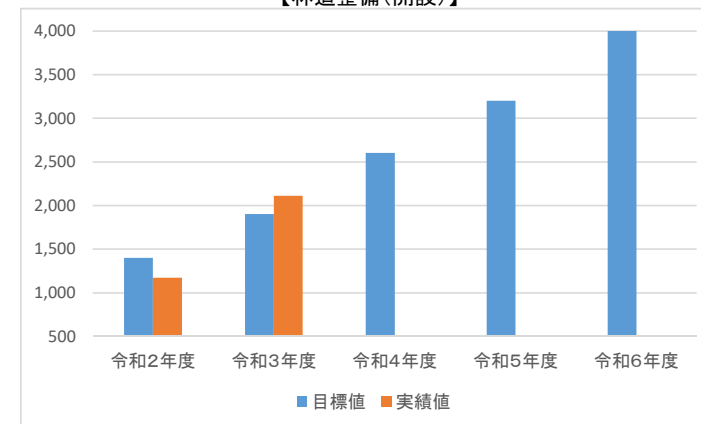
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【林道整備(開設)】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

27

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ウ	ものづくりや地元産業の振興				
	①	企業立地・新規創業の推進・支援				
項目	★	新規立地件数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★新規立地件数	1	件	1	件	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	-	-	-	-	1	件
実績値	0	0				件
目標に対する達成率	-	-	-	-		
基準値に対する増減率	-100%	-100%				累計目標
評価	評価なし	評価なし				
PLAN:取組内容	企業立地の取り組み					
DO:実績 (事業内容等を記載)	令和3年度は事務所・工場等の新設は無かった。 小規模事業者等からの用地についての問い合わせ有り。					
CHECK:分析	新しく町内で会社設立をしたいという要望は聞くが、詳しい内容について聞くと、規制緩和や補助金の対象要件に当てはまらず、創業には至っていない。					
ACTION:今後の対応	県や商工会と連携しながら、規制緩和により企業立地の働きかけを推進するとともに、職種や事業規模に応じた創業支援を実施していく。					

評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【新規立地件数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	評価なし

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ウ	ものづくりや地元産業の振興				
	①	企業立地・新規創業の推進・支援				
項目	★	中心市街地 新規開業事業所数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★中心市街地 新規開業事業所数	7	事業所	7	事業所	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2	2	1	1	1	事業所
実績値	2	8				事業所
目標に対する達成率	100%	400%				
基準値に対する増減率	-71%	14%				累計目標
評価	○	◎				
PLAN:取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 企業立地の取り組み（いの町産業振興奨励金）等 ■ いの町空き店舗対策家賃補助助成事業（地方への移住促進・創業支援事業） ■ いの町中心市街地活性化計画を策定（H30.12月） 					
DO:実績 (事業内容等を記載)	いの町産業振興奨励金(高知食糧棚たまごセンター)を実施した。 いの町空き店舗対策家賃補助助成事業(4件:GOOD FIVE、コクバンカフェ、MATE、ラグーン)を実施した。いの町ホームページに支援内容を引き続き掲載した。 新規開業(8件:ラグーン、大国薬局、MATE、大国診療所、スキップ代行、渋谷(訪問介護)、絵画教室(浜田公望)、楽屋) まちづくりに関するLLPの立ち上げによる意向調査及び、商工会による小規模事業者支援推進事業で実施した事業者等へのアンケートを実施した。					
CHECK:分析	まちづくりに関するLLPや商工会で実施した調査により、中心市街地エリアの事業者の意見のすい上げをし、新たなマッチングシステムが整いつつある。					
ACTION:今後の対応	出店の要望はあるが、使える空き店舗が少ないためその掘り起しが必要であり、今後もれんけいこうちや商工会等と連携して情報収集や情報発信力を向上させる。					

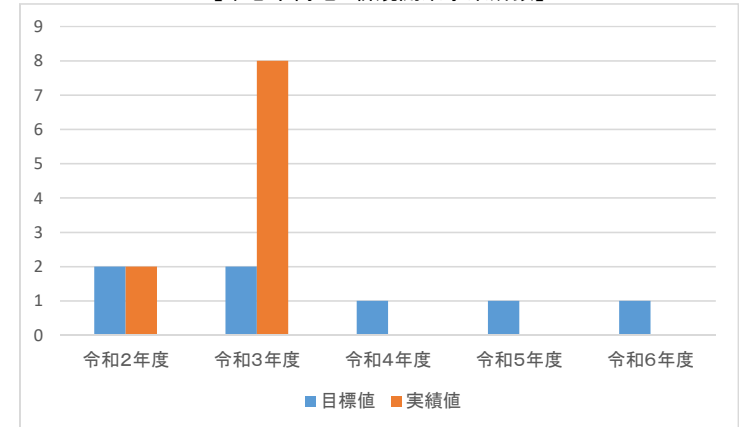
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【中心市街地 新規開業事業所数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

29

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ウ	ものづくりや地元産業の振興				
	②	紙産業の振興				
項目	★	伊野製紙工業会会員の売上				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★伊野製紙工業会会員の売上	23,000	百万円	23,319	百万円	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	23,000	23,000	23,000	23,000	23,000	百万円
実績値	23,108	24,290				百万円
目標に対する達成率	100%	106%				単年度目標
基準値に対する増減率	-1%	4%				
評価	◎	◎				
PLAN:取組内容	紙産業の振興 伊野製紙工業会会員の売上					
DO:実績 (事業内容等を記載)	令和3年度 ・19社 ・うち、町内17社について 年間売上総額 242億9千万円 正規従業員数 857人					
CHECK:分析	コロナ禍・ウクライナ情勢等の厳しい経済情勢の中、国や県の支援制度を活用しながら、コストの引き下げ、付加価値の増加等によって収益の確保に努力したことが結果につながった。					
ACTION:今後の対応	商品の開発研究、生産技術の向上、地球環境に対応した生産設備の導入の促進等を行い、若手後継者の育成支援・販路の拡大を図ることで売上増を目指す。					

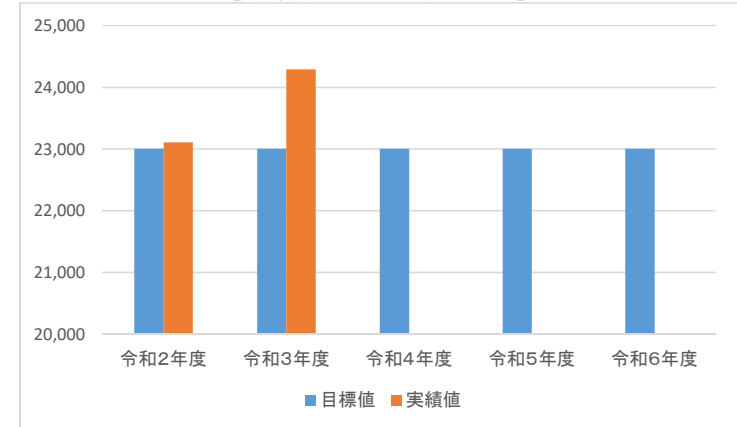
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【伊野製紙工業会会員の売上】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	実績値は伸びているが、コロナ禍により一部の会員は売上が減少している。原材料価格の高騰が続いている。製紙工業会として価格転嫁をしようと検討している。
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

30

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ウ	ものづくりや地元産業の振興				
	②	紙産業の振興				
項目	★	高知県手すき和紙協同組合・紙の博物館の売上				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★高知県手すき和紙協同組合・紙の博物館の売上	1,700	万円	906	万円	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	万円
実績値	747	829				万円
目標に対する達成率	44%	49%				単年度目標
基準値に対する増減率	-18%	-8%				
評価	△	△				
PLAN:取組内容	紙産業の振興 紙の博物館(販売コーナー)の売上					
DO:実績 (事業内容等を記載)	R3年度 紙の博物館販売コーナー売上8,286,904円(前年比815,148円増)					
CHECK:分析	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響が続いており、入場者は個人客を中心に少しずつ回復傾向にあるが、団体客は回復していない。(入場者前年比113.0%、R元年比69.1%) ・8/21～9/26は臨時休館した。 ・開催する展示会の内容により入場者に影響がある。 					
ACTION:今後の対応	令和2年4月より、紙の博物館販売コーナー運営が手すき和紙協同組合への委託から町の直営となった。ディスプレイやポップ表示の変更など、継続して魅力的な売り場づくりに努める。販売コーナーのみの利用は無料で入場できることをPRし、販売コーナー利用増に努め、売り上げ増を目指す。					

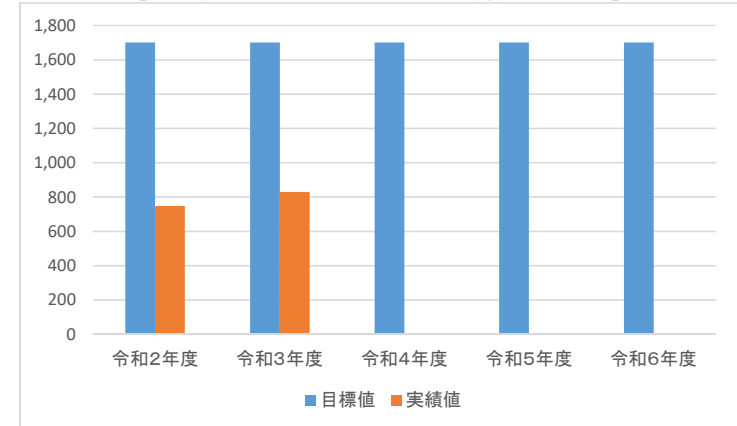
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【高知県手すき和紙協同組合・紙の博物館の売上】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

31

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ウ	ものづくりや地元産業の振興				
	②	紙産業の振興				
項目	★	手すき職人数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★手すき職人数	7	人	6	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	7	7	7	7	7	人
実績値	6	6				人
目標に対する達成率	86%	86%				単年度目標
基準値に対する増減率	0%	0%				
評価	△	△				
PLAN:取組内容	紙産業の振興 手すき職人数					
DO:実績 (事業内容等を記載)	○高知県手すき和紙協同組合員 6名(田村晴彦、尾崎伸安、田村亮二、田村寛、浜田兄弟和紙製作所、友草喜美枝) ○組合員以外の手すき職人 2名(尾崎清貴・北岡辰之)					
CHECK:分析	令和2年度末で長期研修を終了した研修生が1名おり、今後手すき職人となるべく、実績を積みながら土佐和紙振興に関わってもらう。					
ACTION:今後の対応	高齢化等により町内の手すき和紙協同組合員は減少している。職人を目指す人材の掘り起こしや職人育成のプログラムの検証など、手すき和紙協同組合や高知県工業振興課と連携して行っていく。					

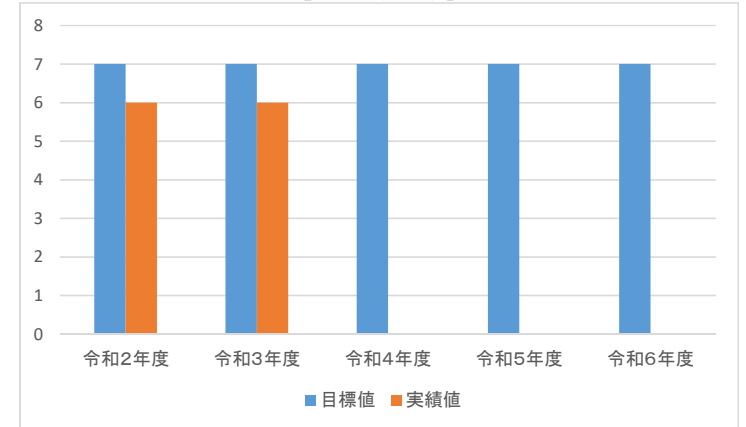
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【手すき職人数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

32

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	エ	地産地消の徹底				
項目	★	直販店の販売額				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課・吾北産業課・本川産業建設課	★直販店の販売額	27,270	万円	25,110	万円	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	27,270	27,270	27,270	27,270	27,270	万円
実績値	25,400	25,687				万円
目標に対する達成率	93%	94%				単年度目標
基準値に対する増減率	1%	2%				
評価	△	△				
PLAN: 取組内容	新規部員の獲得や、直販部員によるイベントの実施、他主催のイベントへ参加し集客および知名度向上に努めた。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	紙博直販所		1,180	いの町本川直販所	463	
	JAコスモス伊野直販所		3,907	伊野町農産物直販所	4,760	
	レストパークいの		7,130			
	工芸村特産センター		1,274	9カ所合計	25,687	
	水辺の駅 あいの里 仁淀川 直販所		1,136			
	ふれあいの里柳野		658			
	道の駅633美の里物産館		5,179			
CHECK: 分析	天候不順や新型コロナウイルス感染症によるイベントの縮小や消費者の外出自粛が要因と考えられる。					
ACTION: 今後の対応	今後も新規部員の増加を図り、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながらイベントの開催等を図り、集客率及び販売額の増加に努める。					

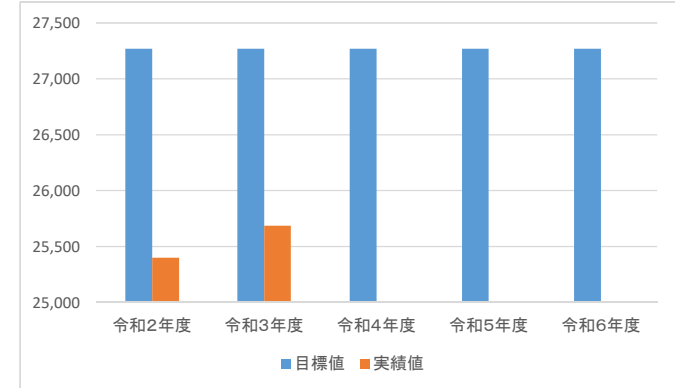
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未滿
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未滿
×	進捗なしor事業終了

【直販店の販売額】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	△ 目標値未滿

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

33

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	エ	地産地消の徹底				
項目	★	学校給食の食材における地場産物の活用割合(令和3年度から金額ベースに変更)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★学校給食の食材における地場産物の活用割合(令和3年度から金額ベースに変更)		65	%	72.8	%
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	65	65	65	65	65	%
実績値	62	58				%
目標に対する達成率	96%	89%				単年度目標
基準値に対する増減率	-14%	-20%				
評価	△	△				
PLAN:取組内容	学校、認定こども園、保育園の給食食材における県内産品の活用割合(令和2年度は重量ベース、令和3年度から金額ベースに変更になった。)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	上記実績のとおり。(保育園・認定こども園 58.9%、学校 53.1%)					
CHECK:分析	※地域食材の使用状況調査ではあるが、いの町産ではなく、高知県産の調査となる。 令和2年度に比べて地元産の不作により給食に必要な量を確保できず、代わりに県外産の食材でまかなったため、地場産物の利用率が低下した。 そのなかでも、保育・認定こども園給食は新たな地元農家さんとの取引を始めたため、地場産物の利用率が増えた。					
ACTION:今後の対応	現在取引しているの業者さんに引き続き県内産を優先して選んでもらうよう働きかける。また、新たに取引可能な地元の納入業者も探し、地場産物の利用を増やしていく。					

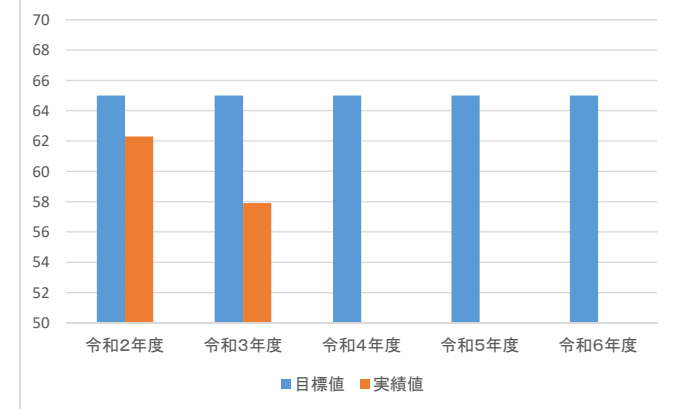
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【学校給食の食材における地場産物の活用割合(令和3年度から金額ベースに変更)



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

34

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(2)	外商の強化を図る				
具体的な施策	ア	観光振興				
項目	★	体験型プログラム参加人数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★体験型プログラム参加人数	30,440	人	28,428	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	26,599	29,546	29,841	30,139	30,440	人
実績値	14,489	18,612				人
目標に対する達成率	54%	63%				単年度目標
基準値に対する増減率	-49%	-35%				
評価	△	△				
PLAN:取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ■「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進 仁淀ブルーを活用したDMO観光地域づくりの連携事業 ■石鎚山系の広域観光推進 (株)ソラヤマいしづちとの連携事業 ■れんげいこうち広域観光推進事業 					
DO:実績 (事業内容等を記載)	<ul style="list-style-type: none"> ○仁淀ブルー体験博での町内プログラム参加者:70人 ○PR動画を活用したSNSでのプロモーション事業 ○訪日グローバルキャンペーン等に対応したコンテンツ事業を活用した旅行商品造成数:2商品 ○「竜とそばかすの姫」オリジナル手すき和紙ファイル作り体験者数:336人 					
CHECK:分析	高知県が舞台となった映画「竜とそばかすの姫」が7月に公開され夏休み以降の観光客増加が期待されたが、例年より雨天が多かったことや8月中旬以降の感染拡大による施設休館等の影響もあり集客が伸び悩んだ。しかしながら映画にちなんだオリジナルの紙漉き体験や10月～11月に開催された仁淀ブルー体験博の開催により町内外からの参加者も多く、新規顧客の獲得や町内全域への誘客効果が見られた。					
ACTION:今後の対応	新型コロナウイルス感染症の影響は年々小さくなってきており、国内旅行者だけでなく海外旅行者数がコロナ前の水準に戻ることが想定される。新しい生活様式下での観光客受入体制を整えるとともに、関係機関と連携・協力しながら地域資源を活用した観光商品の造成、体験メニューの磨き上げを行い集客促進を図り滞在型観光プラン整備計画を推進していく。					

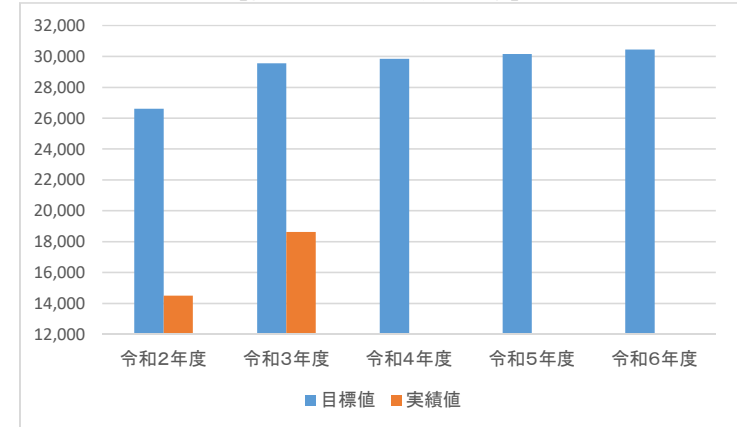
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【体験型プログラム参加人数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

35

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(2)	外商の強化を図る				
具体的な施策	ア	観光振興				
	①	魅力ある新メニューの開発強化				
項目	★	体験料収入				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★体験料収入	59,903	千円	56,687	千円	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	50,799	58,141	58,723	59,310	59,903	千円
実績値	32,065	38,621				千円
目標に対する達成率	63%	66%				単年度目標
基準値に対する増減率	-43%	-32%				
評価	△	△				
PLAN:取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ■「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進 仁淀ブルーを活用したDMO観光地域づくりの連携事業 ■石鎚山系の広域観光推進 (株)ソラヤマいしづちとの連携事業 ■れんげいこうち広域観光推進事業 					
DO:実績 (事業内容等を記載)	<ul style="list-style-type: none"> ○入込客数報告収入:38,353,039円 ○仁淀ブルー体験博体験プログラム収入:268,600円 ○映画「竜とそばかすの姫」オリジナル紙漉き体験(紙の博物館):336,000円 					
CHECK:分析	<p>高知県が舞台となった映画「竜とそばかすの姫」が7月に公開され夏休み以降の観光客増加が期待されたが、例年より雨天が多かったことや8月中旬以降の感染拡大による施設休館等の影響もあり集客が伸び悩んだ。10月～11月に開催された仁淀ブルー体験博では観光資源の高付加価値化を目指してプログラムを構成を行い、この期間中にしか体験できない特別感が功を奏し体験料の増加につながった。また「竜とそばかすの姫」にちなんだオリジナルの紙漉き体験は新型コロナの影響により想定よりも少ない体験者数だったものの、通常体験料より高価格に設定しており体験料収入増加に繋がった。</p>					
ACTION:今後の対応	<p>昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響によりキャンセル等あったが、新型コロナウイルス感染症の影響は年々小さくなってきており、観光客数の増加が予想される。「仁淀ブルー体験博」の取り組みを通して体験メニューの磨き上げや地域資源の活用を積極的に図るなど、体験メニューの付加価値を高め客単価をアップさせることにより体験料収入増加の取り組みを進めていく。</p>					

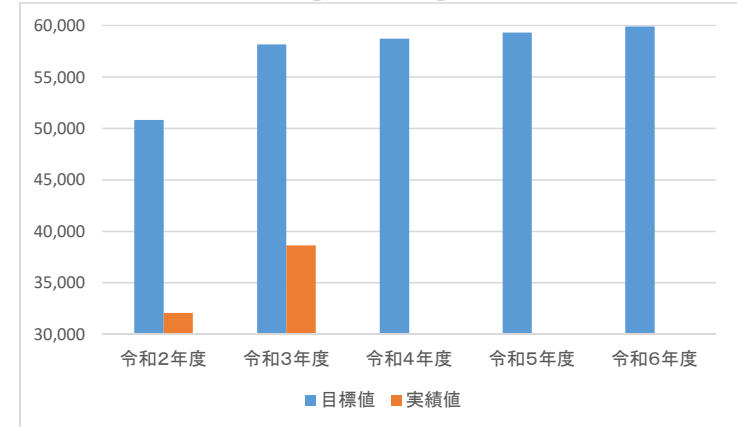
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【体験料収入】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

36

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(3)	雇用の創出を図る				
具体的な施策	ア	人財の確保				
	①	第一次産業等における担い手の確保				
項目	★	新規就農者数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課・吾北産業課	★新規就農者数	20	人	2	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	4	8	12	16	20	人
実績値	1	3				人
目標に対する達成率	25%	38%				
基準値に対する増減率	-50%	50%				累計目標
評価	△	△				
PLAN:取組内容	新規就農者の確保・維持、実践研修などによる営農定着の支援(新規就農者支援事業)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	本川地区1名、伊野地区1名、計2名が就農した。					
CHECK:分析	農地の確保や、資金の確保がむずかしく、就農につなげることができなかった。					
ACTION:今後の対応	関係機関と連携を密にし情報収集に努めるとともに、支援をおこなっていくとともに、令和3年度就農者のうち1名は就農支援制度を活用しているが、残りの1名は要件にあわなかったため活用できていないので、活用できるよう支援する。					

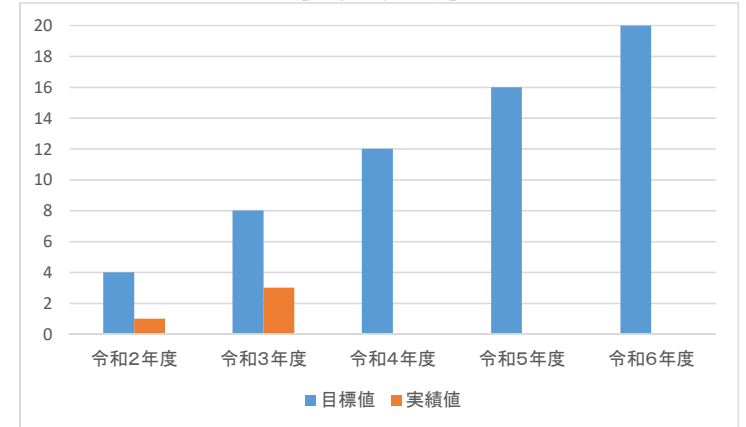
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【新規就農者数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

37

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(3)	雇用の創出を図る				
具体的な施策	ア	人財の確保				
	①	第一次産業等における担い手の確保				
項目	★	新規就農研修生				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課・吾北産業課	★新規就農研修生	6	人	2	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2	2	4	4	6	人
実績値	1	2				人
目標に対する達成率	50%	100%				
基準値に対する増減率	-50%	0%				累計目標
評価	△	○				
PLAN:取組内容	新規就農者の確保・維持、実践研修などによる営農定着の支援 ((公財)いの町農業公社研修事業等) 研修手当、資金の交付(農業次世代人材投資事業等)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	(公財)いの町農業公社と、JAコスモスまるい生姜部会において、産地提案型担い手確保対策として取り組んだ結果、1名の農業研修生を確保した。					
CHECK:分析	農業公社のホームページや、高知県農業会議が発行しているチラシなどで就農希望者を募ったが1名にとどまった。					
ACTION:今後の対応	関係機関と連携を密にし情報収集に努めるとともに、さらなる周知を行い研修生の確保に努める。					

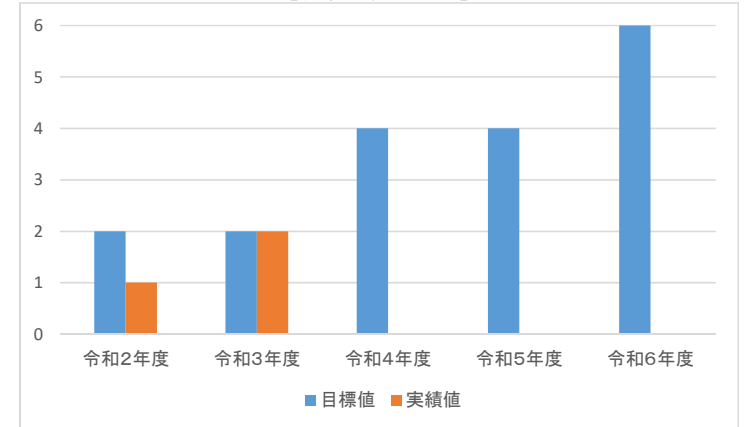
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【新規就農研修生】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1 連番 38

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(3)	雇用の創出を図る				
具体的な施策	ア	人財の確保				
	①	第一次産業等における担い手の確保				
項目	★	新規林業就業者数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
森林政策課	★新規林業就業者数	15	人	6	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	-	-	-	-	15	人
実績値	5	11				人
目標に対する達成率	33%	73%				
基準値に対する増減率	-17%	83%				累計目標
評価	評価なし	評価なし				
PLAN:取組内容	新規林業就業者への研修支援(林業労働力確保育成支援事業) 等					
DO:実績 (事業内容等を記載)	2事業体で6名採用されている。					
CHECK:分析	令和元年度実績と比較し増減なしとなっているが、就業体験希望者の実習生指導(3事業体9名)を行うなど、新規林業就業者数の増加に向けた取り組みを積極的に行っている。					
ACTION:今後の対応	林業担い手の確保に向けた支援を図るとともに、引き続き林業従事者の雇用促進に向けた取り組みへの支援を継続して行っていく。					

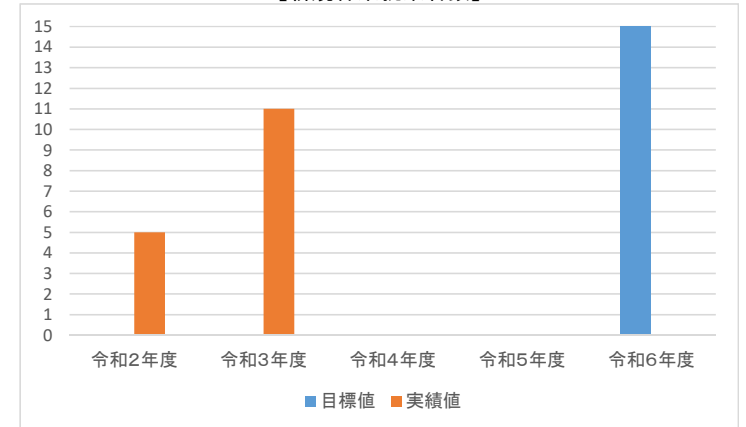
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【新規林業就業者数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	評価なし

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

39

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(3)	雇用の創出を図る				
具体的な施策	ア	人財の確保				
	①	第一次産業等における担い手の確保				
項目	★	新規等林業就業者への研修支援				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
森林政策課	★新規等林業就業者への研修支援	55	人	11	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	-	-	-	-	55	人
実績値	12	28				人
目標に対する達成率	22%	51%				
基準値に対する増減率	9%	155%				累計目標
評価	評価なし	評価なし				
PLAN:取組内容	新規林業就業者への研修支援(林業労働力確保育成支援事業) 等					
DO:実績 (事業内容等を記載)	●1年目:6名 ●2年目:5名 ●3年目:5名					
CHECK:分析	令和元年度実績と比較し1年目の研修人数が増減なし、2年目4名増、3年目3名増。 各林業事業体は年間を通じて職員募集を行っており、令和3年度の事業対象人数は令和元年度と比較し5名増となった。					
ACTION:今後の対応	林業担い手の確保に向けた支援を図るとともに、引き続き林業従事者の育成、労働災害防止等への支援を継続して行っていく。					

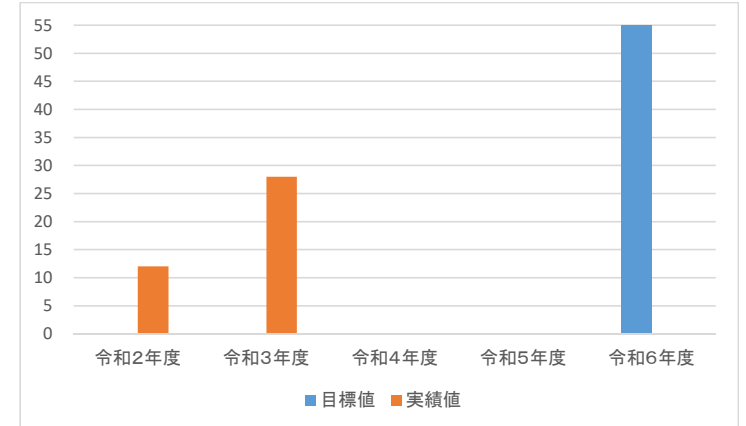
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【新規等林業就業者への研修支援】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	評価なし

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

40

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(3)	雇用の創出を図る				
具体的な施策	イ	人財の育成				
	①	各領域の専門家集団の養成				
項目	★	大学等との連携した事業展開検討				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★大学等との連携した事業展開検討	3	件	2	件	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	3	3	3	3	3	件
実績値	2	1				件
目標に対する達成率	67%	33%				単年度目標
基準値に対する増減率	0%	-50%				
評価	△	△				
PLAN:取組内容	高知大学地域連携推進センターと連携した取組み					
DO:実績 (事業内容等を記載)	柳野地区において、イタドリ収穫、イタドリ畑の草刈り、インターネット講習、スマホの使い方などの活動を行った。					
CHECK:分析	活発的に活動されている地区は、高知大学と連携した活動を行い、広がりを見せているものの、その他の活動については、大学とのマッチングの機会や連携事業の話し合いはなかった。マッチングの機会創出には、まず、ニーズの掘り起こしが必要と考える。					
ACTION:今後の対応	活発的に活動されている地区に対しては、引き続き働きかけを行うほか、その他の地区での実施に向け、今後、地域振興担当部署との情報交換によりニーズの掘り起こしを行い、その後、地域と大学とのマッチングに向けて大学と協議を行う。					

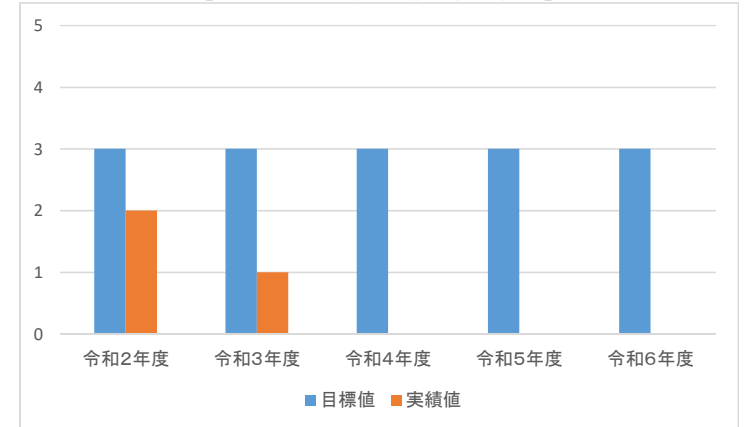
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【大学等との連携した事業展開検討】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標2 新しい人の流れをつくる

基本的方向	連番	担当課	具体的な施策(詳細)	単位	R2目標値	R2実績値	R3目標値	R3実績値	総合評価	R6(最終年度)時点	累計
(1)いの町を知ってもらう	1	総合政策課	いの町ホームページへのアクセス数	回以上	20000	75,509	75,500	66,266	△	77,000	
	2	教育委員会	i-check(アイチェック)による学級の絆のiスコアの割合	%以上	-	-	80	80.8	◎	80	
	3	教育委員会	「自分には良いところがある」の肯定的回答の割合	%以上	85	72.4	85	70.9	△	85	
	4	教育委員会	教師塾菊池寺子屋及び大人版菊池学級への参加延べ人員	人以上	150	157	150	173	◎	150	○
	5	教育委員会	ぶっくりハート体操の取組み人数	人以上	-	701	-	696	評価なし	2,000	○
	6	教育委員会	ぶっくりハートのキャラクターを活用したノベルティ商品の開発	商品	-	0	-	0	評価なし	8	○
	7	教育委員会	アンガーマネジメントファシリテーター養成研修修了者	人以上	-	0	-	0	評価なし	5	○
(2)いの町への関わりをつくる	8	総合政策課	ふるさと納税寄付件数	件(年平均)以上	8,200	12,280	8,200	11,967	◎	8,200	
	9	総合政策課	移住相談者数	件(年平均)以上	300	193	300	213	△	300	
	10	総合政策課	移住相談後、いの町を案内した人数	人(年平均)以上	50	56	50	40	△	50	
(3)いの町に住んでいただく	11	総合政策課	県外からの移住者数	組(年平均)以上	10	11	10	23	◎	10	
	12	本川教育事務所	町外から山村留学生新規留学生数	人(年間)以上	3	7	3	4	◎	3	
	13	産業経済課	中心市街地 新規開業事業所数	事業所	2	2	2	8	◎	7	○

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番

1

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(1)	いの町を知ってもらう				
具体的な施策	(ア)	「いの町を知ってもらう！」ための取り組み				
	①	PR・情報発信				
項目	★	いの町ホームページへのアクセス数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★いの町ホームページへのアクセス数	77,000	回以上	43,502	回	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	20,000	75,500	76,000	76,500	77,000	回以上
実績値	75,509	66,266				回以上
目標に対する達成率	378%	88%				単年度目標
基準値に対する増減率	74%	52%				
評価	◎	△				
PLAN:取組内容	「いの町」を移住先を選んでいただくため、いの町移住応援サイト「ハッピーいの町ターン」を運用し、きめ細かに当町の移住支援事業を紹介する。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	サイト上では、空き家バンク物件と中間管理住宅の紹介、ハローワークと農林業の求人情報を掲載し、『住まい』と『仕事』両方の情報発信を行ったが、実績値を下回った。					
CHECK:分析	昨年度は空き家バンク物件登録数が伸び悩み、物件情報の更新が十分にできなかったことが原因ではないかと分析する。					
ACTION:今後の対応	空き家バンク物件数の増加を図るため、空き家募集広報の強化や空き家調査地域の計画を立て重点的に調査を行うことで、物件登録の増加を図り、随時新しい情報をホームページで公開することで、アクセス数の増加を図る。 また、現在のホームページの情報発信の対象が移住希望者向けであることから、空き家で生じるデメリットや補助制度の紹介など空き家所有者に向けた情報発信も行う。					

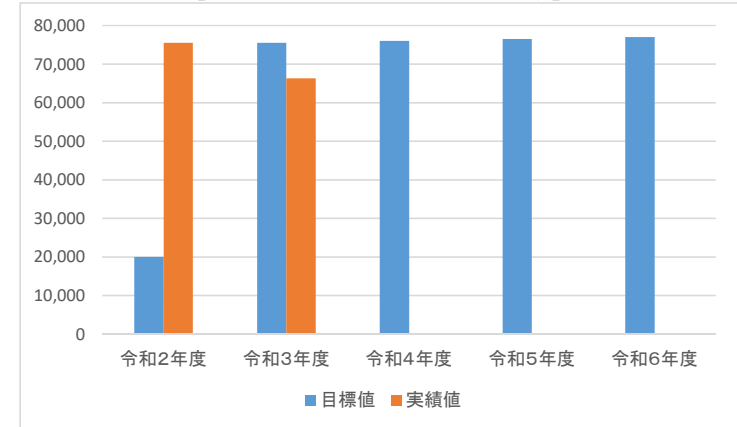
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【いの町ホームページへのアクセス数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	<p>Q. アクセス数が増えた理由は？</p> <p>A. 空き家バンク制度に加え、中間管理住宅を実施し物件情報を掲載したこと、またコロナ禍により都市部からの移住ニーズが増えたことによるもの。</p>
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番

2

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(1)	いの町を知ってもらう				
具体的な施策	(ア)	「いの町を知ってもらおう！」ための取り組み				
	(2)	いの町の特徴的な取り組み「町民を対象とした「心の教育」の充実」				
項目	★	i-check(アイチェック)による学級の絆のiスコアの割合				
担当課	重要業績評価指標(KPI)			基準値:令和元年度		
	令和6年度			実績等		
教育委員会	★i-check(アイチェック)による学級の絆のiスコアの割合	80	%以上	-	%	
目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
実績値	-	80	80	80	80	%以上
目標に対する達成率	-	101%				単年度目標
基準値に対する増減率	-	-				
評価		◎				
PLAN:取組内容	<p>目指す教育の姿を「豊かな対話を通して、学び続ける子ども」に設定し、教育特使菊池省三氏とともに、「自分らしさが発揮できる学級づくり」と「少人数による話し合いのある授業の成立」を小中学校で実践していく。</p> <p>・各校が教育特使を講師として招聘した公開授業を開催し、他校の取組を自校の取組の参考としていく。</p>					
DO:実績 (事業内容等を記載)	<p>・先生と子ども、子ども同士の関係性を築くために、先生と子どもとの関わりは、子どもの良さや頑張りや「ほめて」「認めて」「励ます」ことをベースに行った。他にも、「価値語」「成長ノート」「ほめ言葉のシャワー」等に取り組むことで、子どものより良い成長や温かい関係性のある学級づくりを行った。</p> <p>・年度当初は、小学校は86.4%、中学校は76.2%、小中学校全体では83.1%であった。年度末は、小学校80.8%、中学校は81.0%、小中学校合わせて80.8%であった。</p>					
CHECK:分析	<p>小学校は、1年生を除く44学級中23学級が年度末の結果が上がった。中学校は、26学級中20学級が年度末の結果が上がった。これは、感染拡大防止のため、小学校では行事が中止や短縮、内容の変更をすることが多くあったことが影響しているのではないかと考えられる。感染防止対策をしながら、様々な工夫して行事等を実施してことを検討していく。</p>					
ACTION:今後の対応	<p>・先生と子ども、子ども同士の関係性を築くために、「ほめて」「認めて」「励ます」ことをベースとした教育活動を継続していく。</p> <p>・「価値語」「成長ノート」「ほめ言葉のシャワー」等に取り組む、子どものより良い成長や温かい関係性のある学級づくりを行う。</p> <p>・感染防止対策をしながら、ICT機器を活用するなど、工夫をして行事等を実施していく。</p>					

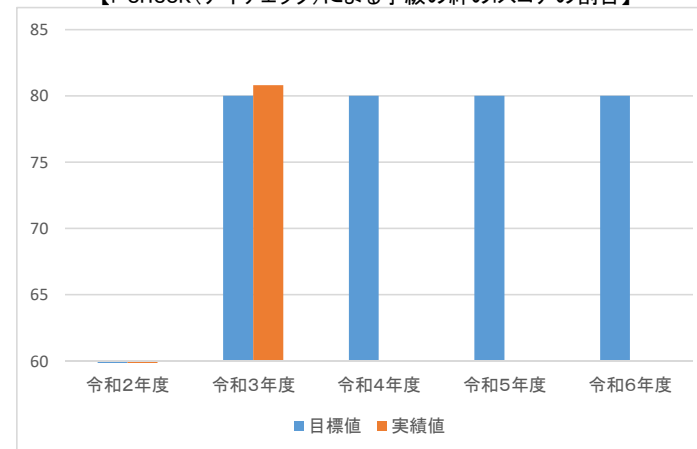
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしOr事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしOr事業終了

【i-check(アイチェック)による学級の絆のiスコアの割合】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番

3

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(1)	いの町を知ってもらう				
具体的な施策	(ア)	「いの町を知ってもらう！」ための取り組み				
	②	いの町の特徴的な取り組み「町民を対象とした「心の教育」の充実」				
項目	★	「自分には良いところがある」の肯定的回答の割合				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★「自分には良いところがある」の肯定的回答の割合	小中学校とも85	%以上	76.3	%	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	%以上
実績値	72.4	70.9				%以上
目標に対する達成率	85%	83%				単年度目標
基準値に対する増減率	-5%	-7%				
評価	△	△				
PLAN: 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す教育の姿を「豊かな対話を通して、学び続ける子ども」に設定し、教育特使菊池省三氏とともに、「自分らしさが発揮できる学級づくり」と「少人数による話し合いのある授業の成立」を小中学校で実践していく。 ・各校が教育特使を講師として招聘した公開授業を開催し、他校の取組を自校の取組の参考としていく。 					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・先生と子ども、子ども同士の関係性を築くために、先生と子どもとの関わりは、子どもの良さや頑張りを「ほめて」「認めて」「励ます」ことをベースに行った。他にも、「価値語」「成長ノート」「ほめ言葉のシャワー」等に取り組むことで、子どものより良い成長や温かい関係性のある学級づくりを行った。 ・学校評価アンケートにおいて、小学校は78.3%、中学校は64.7%、小中全体では70.9%であった。 					
CHECK: 分析	<p>昨年度と比較すると全体で-1.5%となった。小学校は+4.5%、中学校は-4.5%となった。中学校の「学級の絆」は上がっているが、「自分には良いところがある」は下がっている。このことから、居場所のある学級づくりはできてきているが、子ども一人一人の自尊感情を高める取組を重点的に取り組む必要がある。</p>					
ACTION: 今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・先生と子ども、子ども同士の関係性を築くために、「ほめて」「認めて」「励ます」ことをベースとした教育活動を継続していく。 ・「価値語」「成長ノート」「ほめ言葉のシャワー」等に取り組む、子どものより良い成長や温かい関係性のある学級づくりを行う。 					

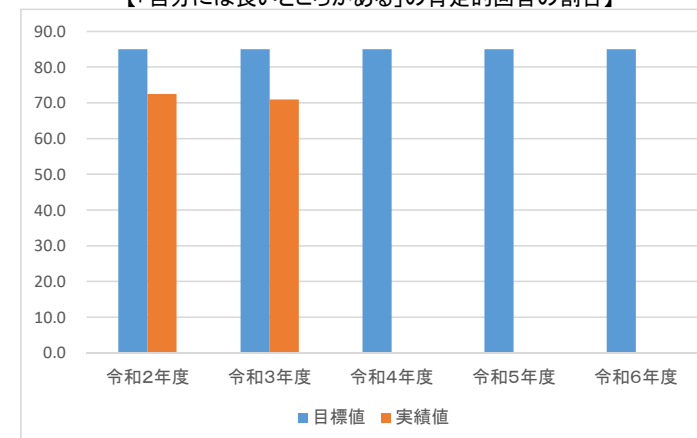
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【「自分には良いところがある」の肯定的回答の割合】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(1)	いの町を知ってもらう				
具体的な施策	(ア)	「いの町を知ってもらう！」ための取り組み				
	(2)	いの町の特徴的な取り組み「町民を対象とした「心の教育」の充実」				
項目	★	教師塾菊池寺子屋及び大人版菊池学級への参加の延べ人員				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★教師塾菊池寺子屋及び大人版菊池学級への参加の延べ人員	150	人以上	318	人	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		150	150	150	150	150
実績値		157	173			
目標に対する達成率		105%	115%			
基準値に対する増減率		-51%	-46%			
評価		◎	◎			
PLAN: 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教育特使が来町した日の勤務時間内外で、教育特使の授業観、指導論、指導技術を学ぶ機会を場を設け、町の目指す教育の姿を達成していくために必要な教員を育成していく。 					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に年間計画を周知し、ホームページやSNSを通じて周知することで、町内教職員のみならず、大学生や大学院生、以前町内の学校に勤務していた先生の参加があった。 ・感染防止対策としてオンラインでの参加も可能とし、より参加しやすい体制を整えた。 ・幼児教育版寺子屋を開催し、各園の取組を共有し、その後の取組に活用してもらうことができた。 					
CHECK: 分析	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画の事前通知と直前の再通知を行うことで、参加者が増加したのではないかと考えられる。 ・オンライン参加も可能としたことも、参加者増加の要因と考えられる。 ・幼児教育版寺子屋への小中学校からの参加者が少なく、園小中連携として活用していく方法を検討する必要がある。 					
ACTION: 今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・事前の年間計画と直前の再通知と、オンラインでの参加を継続していく。 ・令和3年度幼児教育版寺子屋の実践発表を、園小中連携として活用するように提案していく。 					

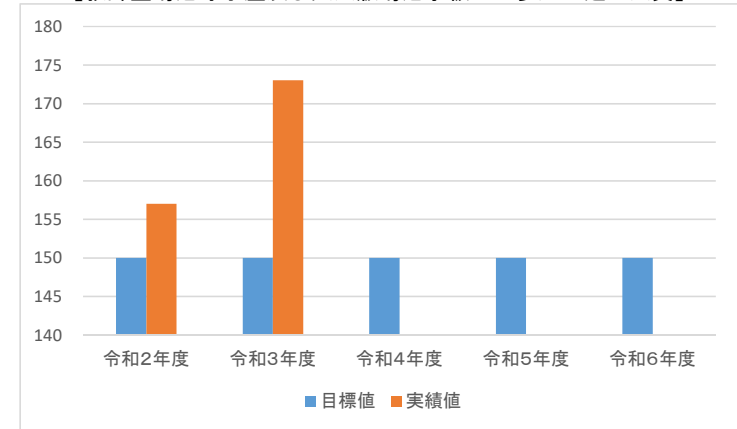
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【教師塾菊池寺子屋及び大人版菊池学級への参加の延べ人員】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	◎ 目標値以上

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(1)	いの町を知ってもらう				
具体的な施策	(ア)	「いの町を知ってもらう！」ための取り組み				
	(2)	いの町の特徴的な取り組み「町民を対象とした「心の教育」の充実」				
項目	★	ぷっくりハート体操の取組み人数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★ぷっくりハート体操の取組み人数	2,000	人以上	-	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	-	-	-	-	2000	人以上
実績値	701	696				人
目標に対する達成率	-	-	-	-		
基準値に対する増減率	-	-	-	-		累計目標
評価	評価なし	評価なし				
PLAN:取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の保育園、幼稚園、認定こども園、小学校、中学校の運動会やぐりぐらひろばでぷっくりハート体操を、子どもと一緒にを行う。 ・ほけん福祉課主催「るんるん若がえる体操」に同行し、高齢者と一緒にぷっくりハート体操を行う。 					
DO:実績 (事業内容等を記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・延べ8園と1校の運動会、学習発表会、クリスマス会等でぷっくりハート体操を行った。コロナ禍のため、運動会への参加は少なくなったが、運動会以外の行事に参加することができた。 ・本年度から「ぐりぐらひろば」を定期的に訪問し、来所者(親子)と一緒に体操を行うことにした。感染拡大防止のため人数制限を行うこともあったが、昨年度並みの実績を上げることができた。 ・本年度も「るんるん若がえる体操」が実施されなかったが、園を通して、高齢者と一緒にぷっくりハート体操を行うことができた。 					
CHECK:分析	<ul style="list-style-type: none"> ・園を通して、ほけん福祉課の関連機関である「あったかふれあいセンター」の行事に参加することができたので、高齢者や他課・関連施設職員にもぷっくりハート体操を周知することができた。 ・園以外にも地域子育て支援センターに定期的に訪問することで、就園前の子どもや保護者へ周知することができた。 					
ACTION:今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ぷっくりハート体操での関わりだけではなく、各行事などで関わりを持ち、ぷっくりハート(自尊感情)の大切さを啓発していく。 					

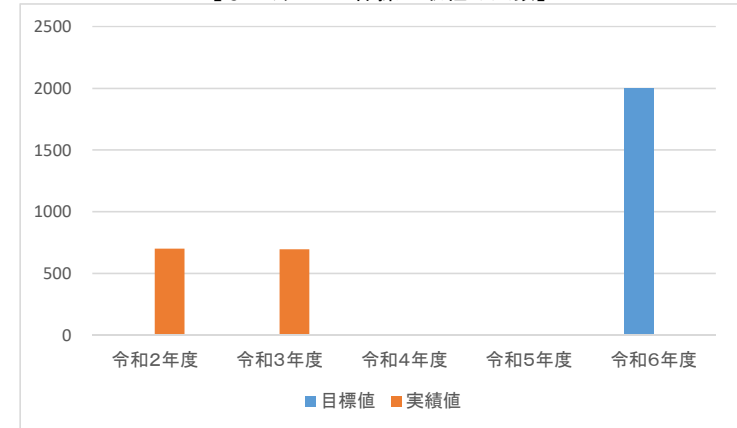
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【ぷっくりハート体操の取組み人数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	評価なし

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番

6

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(1)	いの町を知ってもらう				
具体的な施策	(ア)	「いの町を知ってもらう！」ための取り組み				
	(2)	いの町の特徴的な取り組み「町民を対象とした「心の教育」の充実」				
項目	★	ぷっくりハートのキャラクターを活用したノベルティ商品の開発				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★	ぷっくりハートのキャラクターを活用したノベルティ商品の開発	8	商品	-	商品
目標値		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実績値		-	-	-	-	8
目標に対する達成率		-	-	-	-	
基準値に対する増減率		-	-	-	-	
評価		評価なし	評価なし			
PLAN: 取組内容	・他課等と連携し、ぷっくりハーちゃんをモチーフにしたノベルティ商品を開発し、町内外にぷっくりハートのPR活動につなげる。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	・ノベルティ商品の開発を依頼するために他課との連携を進めることができず、商品開発まで至らなかった。 ・ノベルティ商品は開発できなかったが、商品券(産業経済課)や封筒(教育委員会事務局、町民課)、県民手帳への掲載、ぷっくりハートちゃんのTV出演等を実現でき、これまでより広くPRができた。					
CHECK: 分析	・他課との連携を進めるために、ぷっくりハートちゃんについて多くの町民や各事業所に認知してもらい、活用を検討してもら環境を整える。					
ACTION: 今後の対応	・他課との連携を進めるために、ぷっくりハートちゃんについて多くの町民や各事業所に認知してもらい、活用を検討してもら環境を整える。					

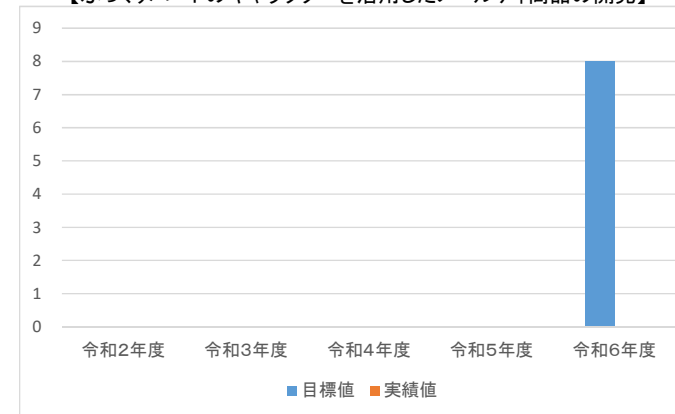
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【ぷっくりハートのキャラクターを活用したノベルティ商品の開発】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	評価なし

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番

7

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(1)	いの町を知ってもらう				
具体的な施策	(ア)	「いの町を知ってもらう！」ための取り組み				
	②	いの町の特徴的な取り組み「町民を対象とした「心の教育」の充実」				
項目	★	アンガーマネジメントファシリテーター養成研修修了者				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★アンガーマネジメントファシリテーター養成研修修了者	5	人以上	-	-	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	-	-	-	-	5	人以上
実績値	0	0				人
目標に対する達成率	-	-	-	-		
基準値に対する増減率	-	-	-	-		累計目標
評価	評価なし	評価なし				
PLAN:取組内容	・自分自身の心と向き合いマネジメントする力の育成を目指し、町内の保育士や保育教諭や保健師、ソーシャルワーカー等がアンガーマネジメントファシリテーターの資格を習得し、あらゆる世代の町民への研修を実施することで、いじめや不登校、児童虐待、高齢者等への虐待の未然防止・件数減少につなげる。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	研修について情報収集・提供を行ったが、資格習得者はなし。					
CHECK:分析	新型コロナウイルス感染防止のため、オンライン研修への参加を検討していたが、日程等が調整できず参加できなかった。					
ACTION:今後の対応	資格習得に向けて、情報収集・提供を継続していく。					

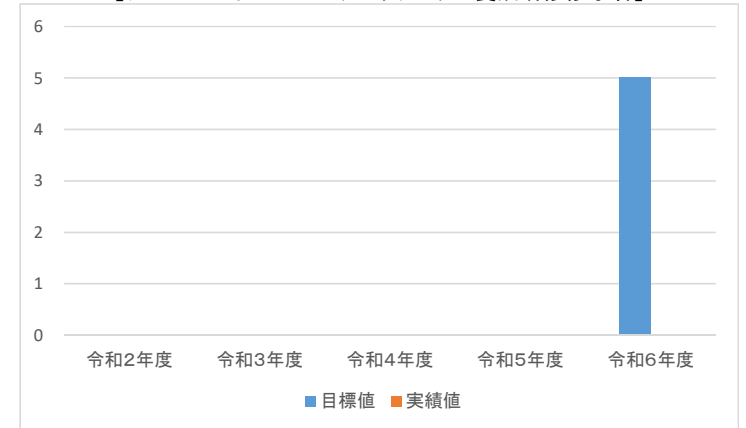
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【アンガーマネジメントファシリテーター養成研修修了者】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	評価なし

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番

8

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(2)	いの町への関わりをつくる				
具体的な施策	(ア)	多様な形で関わる人々「関係人口」づくり				
	(1)	「関係人口」づくり				
項目	★	ふるさと納税寄付件数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★ふるさと納税寄付件数	8,200 件(年平均)以上			-	件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	件(年平均)以上
実績値	12,280	11,967				件
目標に対する達成率	150%	146%				単年度目標
基準値に対する増減率	-	-				
評価	◎	◎				
PLAN:取組内容	返礼品のバリエーションや登録数を増やすために、新規事業者の開拓を行う。 返礼品情報が分かり易く伝えるために、ポータルサイト内の返礼品写真の見直しおよび撮り直し。 露出度をあげるために掲載サイト数を増やす。 人気返礼品の数量の確保 県内寄附額上位市町村で構成している自治体連携に加入し、共同返礼品の出品や、意見交換会への参加 仁淀川流域(日高村、土佐市)の市町村と定期便を考案し、受付・発送					
DO:実績 (事業内容等を記載)	令和3年度のふるさと納税事業による寄付件数は11967件で、合計寄附金額は221,754,000円であった。					
CHECK:分析	他サイトとは寄附者層の異なる掲載サイト(JR東日本ふるさと納税)を令和3年度中に1つ増やしたことで、露出度が上がった。また、返礼品掲載数の少なかったサイトがあったが、どのサイトでも取り扱っている全ての品が見られるように登録作業を行った。さらに、新規事業者の返礼品を含む登録品数を(R3.4→R4.3)約90品程度増やした。これらを行うことにより、いの町ふるさと納税返礼品の露出度が上がり、全体的な寄附額増につながったと考えられる。 新たに増やした仁淀川流域市町村との定期便を用意したことで、普段は取り扱うことのできない他自治体との連携取組で新たな関係人口の創出がはかれたのではないかと考える。					
ACTION:今後の対応	今後においても、ふるさと納税制度を活用し、魅力的で特色あるいの町の返礼品を全国にPRし、関係人口の創出に努めていく。					

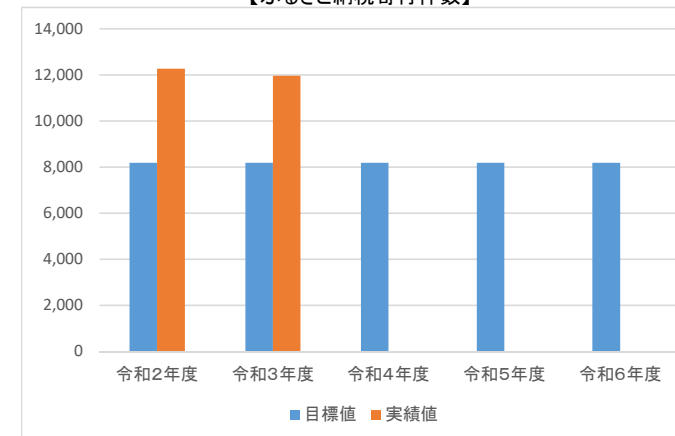
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【ふるさと納税寄付件数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	Q. 目標値を上方修正してはどうか？ A. 検討します。 不特定多数の方にPRすることも大事だが、町出身者等所縁のある方へのPRもしっかりするように。
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番

9

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(2)	いの町への関わりをつくる				
具体的な施策	(ア)	多様な形で関わる人々「関係人口」づくり				
	(2)	いの町を「移住先」として選んでいただく				
項目	★	移住相談者数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★移住相談者数	300	件(年平均)以上	508	件	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	300	300	300	300	300	件(年平均)以上
実績値	193	213				件
目標に対する達成率	64%	71%				単年度目標
基準値に対する増減率	-62%	-58%				
評価	△	△				
PLAN:取組内容	「いの町」を移住先を選んでいただくため、いの町移住応援サイト「ハッピーいの町ターン」の運用や県主催の移住フェアに参加するとともに、移住専門相談員を設置し移住相談に対し、きめ細かに対応する。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	令和3年度の移住相談者数は213件となった。					
CHECK:分析	新型コロナウイルス感染症流行前の相談者数実績値の半数以下となっている。令和2年度実績値に比べ増加した要因としては、高知県主催の移住フェアを12月にリアル開催できたことによるものとして分析し、対面式での相談対応またはリアル会場での情報発信の重要性を改めて感じた。					
ACTION:今後の対応	新型コロナウイルス感染症対策の規制も徐々に緩和されていることから、対面式での相談対応を前提としたり、ZOOMなどオンラインを活用した移住相談など柔軟に対応する。また、移住専門相談員の設置やホームページによる移住支援事業の紹介などにより、「いの町」を移住先として選んでいただけるようきめ細かに対応する。また、今後はUターン移住促進にも力を入れ、支援事業の拡充などを図ることによりさらなる移住促進を図る。					

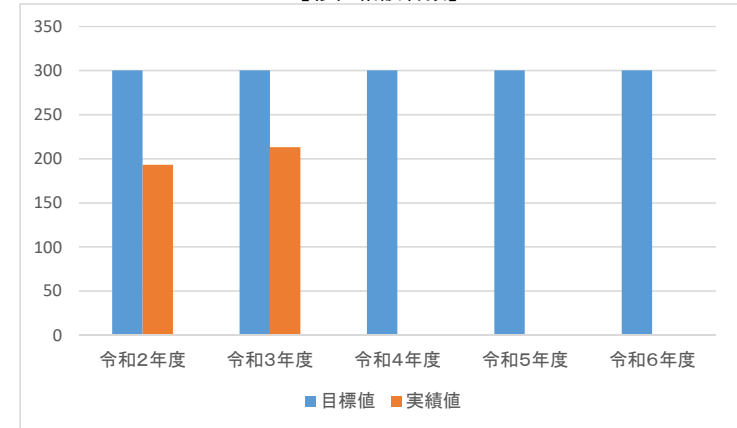
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【移住相談者数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番

10

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(2)	いの町への関わりをつくる				
具体的な施策	(ア)	多様な形で関わる人々「関係人口」づくり				
	(2)	いの町を「移住先」として選んでいただく				
項目	★	移住相談後、いの町を案内した人数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★移住相談後、いの町を案内した人数	50	人(年平均)以上	21	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	50	50	50	50	50	人(年平均)以上
実績値	56	40				人
目標に対する達成率	112%	80%				単年度目標
基準値に対する増減率	167%	90%				
評価	◎	△				
PLAN:取組内容	移住応援サイト「ハッピーいの町ターン」で、空き家バンク物件・中間管理住宅を紹介し、移住希望者に希望の物件を案内する。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	移住応援サイト「ハッピーいの町ターン」で、下記物件を紹介し内見案内した人数は下記のとおり。 空き家バンク内見者数:19人 中間管理住宅内見者数:21人					
CHECK:分析	令和2年度に比べ、移住相談件数は増加したが、一方で案内した人数は減少した。これは、新型コロナウイルス感染症のまん延防止措置により往来が規制されたことによる結果である。					
ACTION:今後の対応	移住希望者に対し、紹介できる物件が少ないことが課題となっているため、引き続き、空き家調査等により空き家バンク物件、中間管理住宅物件を確保し、結果、内見案内者数の増加にも努める。					

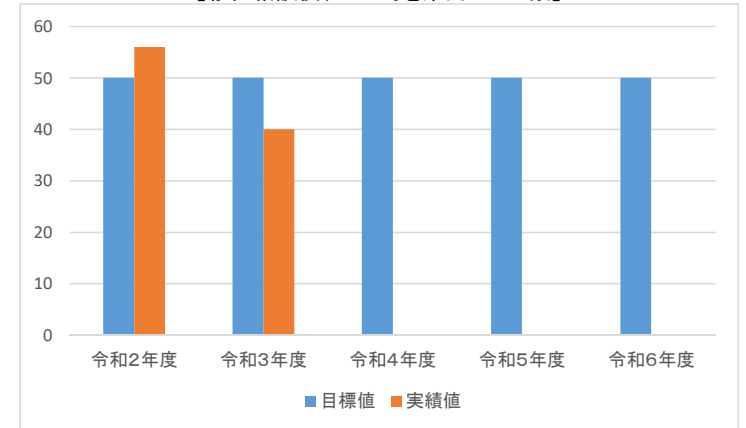
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【移住相談後、いの町を案内した人数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番

11

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(3)	いの町に住んでいただく				
具体的な施策	(ア)	移住定住の促進				
項目	★	県外からの移住者数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★	県外からの移住者数			10	人(年平均)以上
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		10	10	10	10	10 人(年平均)以上
実績値		11	23			人
目標に対する達成率		110%	230%			単年度目標
基準値に対する増減率		-8%	92%			
評価		◎	◎			
PLAN: 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・県主催の移住フェアへの出店 ・移住専門相談員の設置 ・空き家バンク制度、中間管理住宅制度、お試し滞在住宅 <p>主に以上の事業を実施し、いの町への移住者の増加・人口の社会減少の抑制を図る。</p>					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	<p>【県主催移住フェア】 12月に東京・大阪で開催</p> <p>【移住専門相談員の配置】 2名配置し、移住相談に対しきめ細かに対応できる体制を整備した。併せて、空き家調査も行った。</p> <p>【空き家バンク・中間管理住宅】 空き家調査数: 82件 内、バンク登録物件数: 9件 中間管理住宅: 寺野地区(第4号)・中野川(第5号) 整備。両物件とも入居済み。</p> <p>【お試し滞在住宅】 高野邸: 稼働率 30.68% 利用者: 10世帯26名</p> <p>関東圏から6名、関西圏から9名の移住となった。</p>					
CHECK: 分析	<p>新型コロナウイルスの影響により、移住フェアの開催形式の変更や、移住相談やお試し滞在住宅の使用に制限を行ったものの、実績を達成することができた。いの町の自然や住み心地を求めて移住される方が多いことや、新型コロナウイルスにより地方移住への関心が高まっている。</p> <p>空き家バンクの物件登録数が充分でなく、空き家調査は行っているものの空き家所有者の意向により登録まで至っていない。移住希望者を十分に受入出来ていない現状である。</p>					
ACTION: 今後の対応	<p>いの町の住み心地の評価やコロナ禍による地方移住への関心が高まっていることをチャンスと捉え、引き続き、移住者数の増加及び人口の社会減少の抑制に向け事業を実施していく。</p> <p>空き家バンク物件登録数の増加に向けては、過去に登録に至らなかった物件に対し、再度所有者に登録について意向を確認するなど後追いを行っていく。</p> <p>また、県が進めている『空き家決断シート』の活用についても、県と情報共有を図りながら、今後当町でも取り組む考えである。</p>					

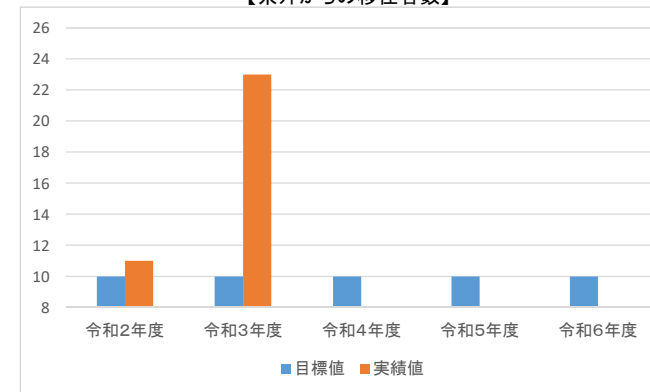
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未滿
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未滿
×	進捗なしor事業終了

【県外からの移住者数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	<p>Q. 実績値が伸びているが、どのように対応されているのか？</p> <p>A. 空き家バンクと中間管理住宅を紹介している。この2つの制度において紹介できる住宅が不足している場合は、民間不動産を紹介している。</p>
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番

12

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(3)	いの町に住んでいただく				
具体的な施策	(イ)	町外からの人材・企業の誘致				
項目	★	町外からの山村留学生新規留学生数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
本川教育事務所	★町外からの山村留学生新規留学生数	3	人(年間)以上	7	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	3	3	6	8	7	人(年間)以上
実績値	7	4				人
目標に対する達成率	233%	133%				単年度目標
基準値に対する増減率	0%	-43%				
評価	◎	◎				
PLAN:取組内容	本川中学校部活動指導者の雇用					
DO:実績 (事業内容等を記載)	昨年度から引き続き、北九州市出身の実力のある女性指導員を雇用し、バドミントン部活動の充実した学校として中学校のホームページで情報発信を行っている。当該指導員は、スポーツ学を学んでおり、培った知識を十分に発揮し、生徒の生活面、精神面でのフォローアップもできている。					
CHECK:分析	昨年度よりは山村留学希望者が減ったが、目標人数は確保できた。バドミントンの経験がない生徒も、部活動において、成果が現れてきている。					
ACTION:今後の対応	引き続き指導員を雇用し、精神面や生活面でも寄り添った指導及び、更なる部活動の強化を図る。今後、地元生が益々少なくなる中、魅力ある学校として取組み、発信することで、更なる留学生確保に努めていく。					

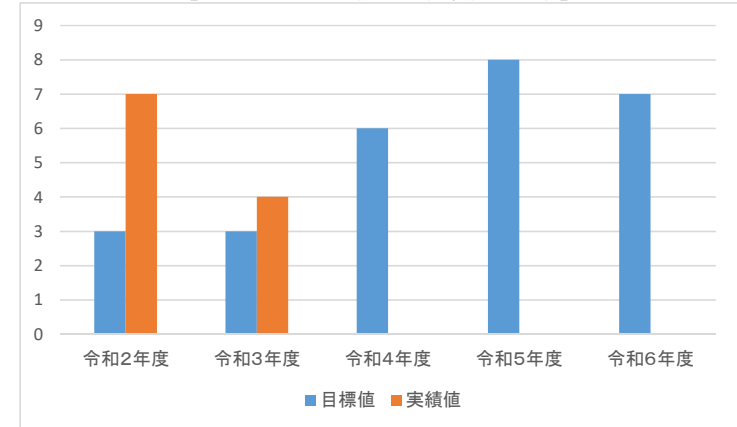
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【町外からの山村留学生新規留学生数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番

13

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(3)	いの町に住んでいただく				
具体的な施策	(イ)	町外からの人財・企業の誘致				
項目	★	中心市街地 新規開業事業所数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★中心市街地 新規開業事業所数	7	事業所	7	事業所	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2	2	1	1	1	事業所
実績値	2	8				事業所
目標に対する達成率	100%	400%				
基準値に対する増減率	-71%	14%				累計目標
評価	○	◎				
PLAN:取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 企業立地の取り組み（いの町産業振興奨励金）等 ■ いの町空き店舗対策家賃補助助成事業（地方への移住促進・創業支援事業） ■ いの町中心市街地活性化計画を策定（H30.12月） 					
DO:実績 (事業内容等を記載)	<p>いの町産業振興奨励金(高知食糧棚たまごセンター)を実施した。 いの町空き店舗対策家賃補助助成事業(4件:GOOD FIVE、コクバンカフェ、MATE、ラグーン)を実施した。いの町ホームページに支援内容を引き続き掲載した。 新規開業(8件:ラグーン、大国薬局、MATE、大国診療所、スキップ代行、渋谷(訪問介護)、絵画教室(浜田公望)、楽屋) まちづくりに関するLLPの立ち上げによる意向調査及び、商工会による小規模事業者支援推進事業で実施した事業者等へのアンケートを実施した。</p>					
CHECK:分析	<p>まちづくりに関するLLPや商工会で実施した調査により、中心市街地エリアの事業者の意見のすい上げをし、新たなマッチングシステムが整いつつある。</p>					
ACTION:今後の対応	<p>出店の要望はあるが、使える空き店舗が少ないためその掘り起しが必要であり、今後もれんげいこうちや商工会等と連携して情報収集や情報発信力を向上させる。</p>					

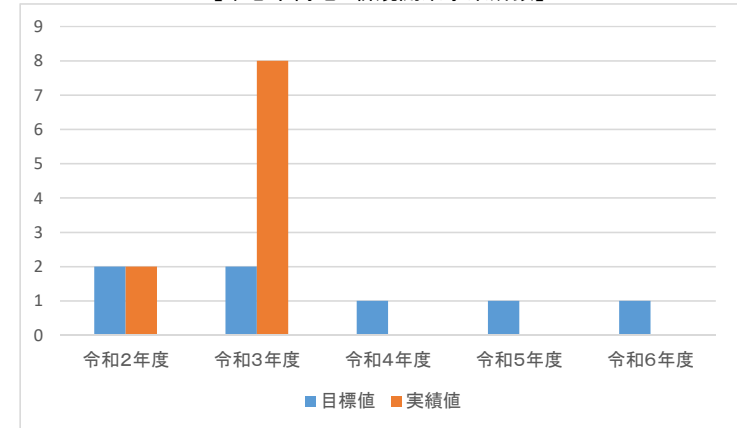
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【中心市街地 新規開業事業所数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	◎ 目標値以上

基本目標3 結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する

基本的方向	連番	担当課	具体的な施策(詳細)	単位	R2目標値	R2実績値	R3目標値	R3実績値	総合評価	R6(最終年度)時点	累計
<p>(1)誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進</p> <p>(ア)安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築</p> <p>(2)女性の活躍の場を拡大する</p> <p>(ア)女性の活躍の場を拡大する</p>	1	総合政策課	出会いイベント数	回	2	1	4	1	△	8	○
	2	総合政策課	出会いイベントでのマッチング数	組	3	3	6	3	△	16	○
	3	総合政策課	サポーター数(婚活・マッチング・サブ)	人	3	0	6	0	△	14	○
	4	教育委員会	子育て支援センターへの来訪者数(プレママほっとルーム除く。)	人(年平均)以上	7100	4,277	7,100	5,683	△	7,100	
	5	教育委員会	子育て支援センター内プレママほっとルームへの来訪者数	人(年平均)以上	100	206	100	132	◎	100	
	6	ほけん福祉課	1歳6か月児健診の受診率	%	100	100	100	97	△	100	
	7	ほけん福祉課	3歳児健診の受診率	%	100	98.6	100	96	△	100	
	8	教育委員会	児童に係る相談・通報件数(虐待又は虐待のおそれのある通告連絡含む。)	件(年平均)以下	1300	1219	1,300	1,017	◎	1,300	
	9	教育委員会	延長保育(開所時間が11時間を超える保育所等)の実施	箇所以上	3	3	3	3	○	3	
	10	教育委員会	乳児保育の実施	箇所以上	6	6	6	6	○	6	
	11	教育委員会	一時預かり事業	箇所以上	2	2	2	2	○	2	
	12	教育委員会	地域子育て支援拠点事業の実施箇所	箇所	1	1	1	1	○	1	
	13	教育委員会	放課後児童クラブへの主任支援員配置人数	名以上	2	2	2	2	○	2	
	14	教育委員会	放課後児童クラブ常勤支援員の専門資格取得率	%以上	50	55	50	81	◎	50	
	15	教育委員会	放課後子ども教室開設数(週2回以上開設か所)	箇所以上	5	5	5	5	○	5	
	16	教育委員会	4か月健診受診者アンケート ブックスタート絵本活用率	%以上	90	0	90	0	評価なし	90	
	17	教育委員会	4か月健診受診者アンケート 親子の触れ合いに役立つと感じた割合	%	100	0	100	0	評価なし	100	

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

1

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
項目	★	出会いイベント数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★出会いイベント数	8	回	3	回	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2	4	6	7	8	回
実績値	1	1				回
目標に対する達成率	50%	25%				累計目標
基準値に対する増減率	-67%	-67%				
評価	△	△				
PLAN:取組内容	出会いのきっかけづくりだけでなく、地域の特色・特産を体験・味わうことで、町の魅力を感じていただけるようなイベントを、企業・団体とタイアップして開催する。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、3月19日にオンライン出会いイベントを開催予定していたが、参加者からのキャンセルにより開催最少人数を下回ったため、中止となった。イベント企画としては、1対1のトーク時間を多く設けたり、オンラインでできるゲームを取り入れ、リアル開催イベント以上に男女が1対1で交流できる時間を多く設ける工夫をした。					
CHECK:分析	申込み数においても、リアル開催イベントに比べ数が少なかった。出会いイベントの参加者は、単なる出会いを求めるのではなく、『イベント開催地に実際に足を運び、何かを体験すること』に魅力を感じイベントに申し込み、参加する傾向があるのではないかと考える。					
ACTION:今後の対応	新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、イベント開催留意事項を参考にし、可能な限りリアル開催イベントを実施する。					

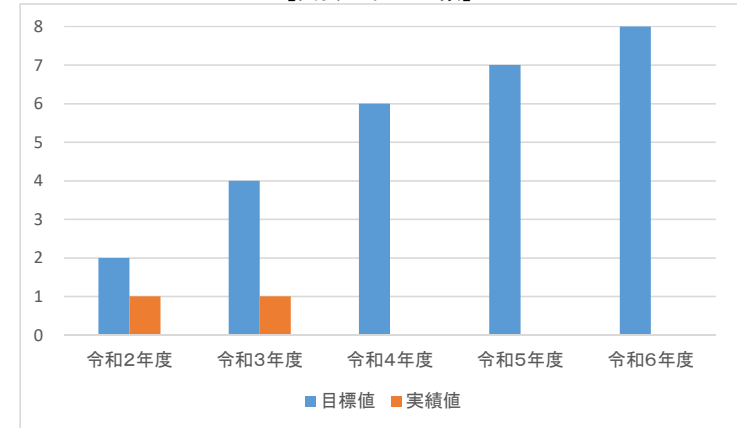
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【出会いイベント数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

2

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
項目	★	出会いイベントでのマッチング数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★出会いイベントでのマッチング数	16	組	-	組	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	3	6	9	12	16	組
実績値	3	3				組
目標に対する達成率	100%	50%				
基準値に対する増減率	-	-				累計目標
評価	○	△				
PLAN:取組内容	出会いイベント内容において、男女が満遍なく交流できるよう工夫し、マッチング数を少しでも増やす。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	実施予定であったオンライン出会いイベントが中止になったことにより、マッチングも実施できなかった。					
CHECK:分析	出会いイベントの参加者は、単なる出会いを得るのではなく、『イベント開催地に実際に足を運び、何かを体験すること』に魅力を感じイベントに申し込み、参加する傾向があるのではないかと考える。					
ACTION:今後の対応	新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、イベント開催留意事項を参考にし、可能な限りリアル開催イベントを実施する。 男女が交流できる時間を多く設けた体験イベントを開催することで、マッチング数の増加を図る。					

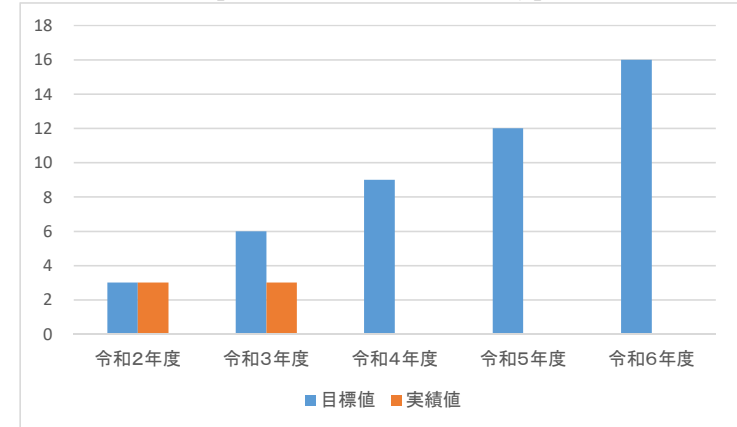
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【出会いイベントでのマッチング数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

3

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
項目	★	サポーター数(婚活・マッチング・サブ)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★サポーター数(婚活・マッチング・サブ)	14	人	-	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	3	6	9	12	14	人
実績値	0	0				人
目標に対する達成率	0%	0%				
基準値に対する増減率	-	-				累計目標
評価	△	△				
PLAN:取組内容	希望する誰もが安心して希望の時期に結婚できるよう、婚活でのカップル成立から結婚に繋げるために、その支援に携わるサポーターの養成にも取り組む。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	婚活サポーター、サブサポーター、マッチングサポーターともに0人という結果で、養成には至らなかったが、令和3年度に婚活サポーター養成講座を受けられ、令和4年度に入って婚活サポーターとして登録された方が1名おられる。 (【参考】現在の町内のサポーター数:婚活サポーター 3名・マッチングサポーター2名)					
CHECK:分析	養成講座を受けられた1名の方の受講のきっかけが、仁淀川町にある合同会社 防災ネットワークによどがわが実施している結婚支援事業『縁結びの家 によどがわ』の声掛けがであることが分かった。 サポーター制度を広く周知することも必要だが、個人個人への周知と取組みに対するお願いをすることもより効果的ではないかと分析する。					
ACTION:今後の対応	サポーター養成講座開催の周知するほか、個人個人への声掛けを実施する。					

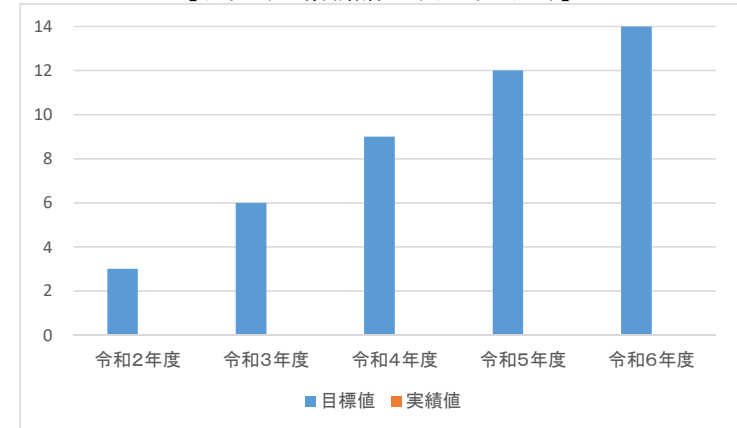
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【サポーター数(婚活・マッチング・サブ)】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

4

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	(イ)	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進				
項目	★	子育て支援センターへの来訪者数(プレママほっとルーム除く)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★子育て支援センターへの来訪者数(プレママほっとルーム除く)	7,100	人(年平均)以上	6,828	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	人(年平均)以上
実績値	4,277	5,683				人
目標に対する達成率	60%	80%				単年度目標
基準値に対する増減率	-37%	-17%				
評価	△	△				
PLAN:取組内容	地域子育て支援拠点事業 妊娠期から子育て家庭への支援の充実。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	子育て支援センターへの来訪者数5,683人。 保育士の視点から各種事業を推進し、当事者の声にも寄り添いながら、機能の充実を図った。また、母子保健事業との連携により、妊娠期から子育て期までの段階に応じた、きめ細かな支援を行い、出産や育児への不安を軽減する取り組みを展開した。 ※(事業内容:子育て家庭の交流の場の提供と交流の促進、子育て等に関する相談・援助の実施、地域の子育て関連情報の提供、子育て及び、子育て支援に関する講習等の実施)					
CHECK:分析	町内唯一の子育て支援拠点であり、特に未就園児の子育て家庭を包括的に支援する場として重要な事業である。新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、交流の機会を設けてきたことで、来訪者数が徐々に回復していると考えられる。					
ACTION:今後の対応	引き続き、妊娠期から子育て期までの包括的な支援を目指して、保健・福祉と連携した切れ目のない子育て支援体制を強化していく。					

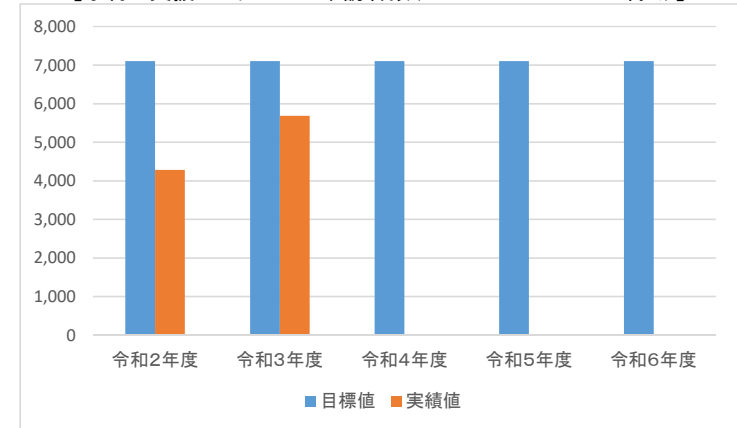
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【子育て支援センターへの来訪者数(プレママほっとルーム除く)】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

5

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	(イ)	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進				
項目	★	子育て支援センター内プレママほっとルームへの来訪者数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★子育て支援センター内プレママほっとルームへの来訪者数		100	人(年平均)以上	329	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	100	100	100	100	100	人(年平均)以上
実績値	206	132				人
目標に対する達成率	206%	132%				単年度目標
基準値に対する増減率	-37%	-60%				
評価	◎	◎				
PLAN:取組内容	<p>・産前産後の母親のストレス緩和、赤ちゃんの「心の安全基地づくり」の推進(なないろはあと事業)</p> <p>・プレママほっとルームの活用(産前産後の母親の居場所)</p> <p>妊娠期から子育て期までの段階に応じた、きめ細かな支援、助言、指導を行い、不安感の解消に向けた取り組みを展開していく。</p>					
DO:実績 (事業内容等を記載)	<p>より良い愛着形成のスタート時期である妊婦や就園前の親子、その家族を対象に、小児科医師や助産婦との座談会、ベビーマッサージ、ベビー&ママヨガ等を子育て支援センターで定期的実施した。また、プレママほっとルームでは、産前産後の母親の心身の変化について学んだり、産前産後の母親が集い交流を図ったりすることで、出産や育児への不安軽減に繋がる事業を展開した。</p>					
CHECK:分析	<p>妊娠期から地域と繋がる切れ目のない支援が重要であり、事業内容の充実やプレママほっとルームの利活用に努めた。</p>					
ACTION:今後の対応	<p>妊産婦が集うきっかけとなるように集いの機会の拡充を図り、交流促進や利用への不安軽減に繋げる。対象となる妊産婦への周知を関係機関と連携して行い、必要に応じて個別対応をする。また引き続き、妊娠期から子育て期までの包括的な支援を目指して、保健・福祉と連携した切れ目のない子育て支援体制を強化していく。</p>					

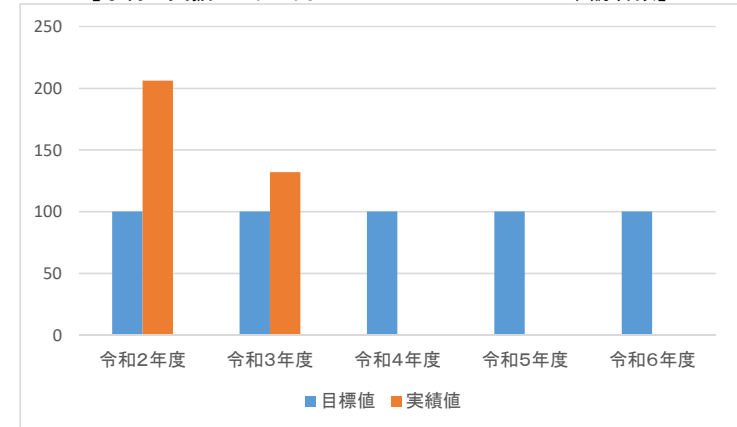
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【子育て支援センター内プレママほっとルームへの来訪者数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

6

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	(2)	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進				
項目	★	1歳6か月児健診の受診率				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
ほけん福祉課	★1歳6か月児健診の受診率	100	%	98.4	%	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	100	100	100	100	100	%
実績値	100	97				%
目標に対する達成率	100%	97%				単年度目標
基準値に対する増減率	2%	-1%				
評価	○	△				
PLAN:取組内容	母子保健事業の充実(乳幼児健診)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	多職種による乳幼児健診を実施し、乳幼児の発育・発達状況を確認するとともに、育児不安を抱く親を把握し、助言を行いながら個々の子育て家庭に寄り添った支援を実施した。					
CHECK:分析	<ul style="list-style-type: none"> 健診未受診者に保健師の訪問等により児の状態を確認するとともに、健診受診勧奨を行い受診につなげた。未受診者3名中1名は令和4年度再勧奨予定、その他2名は法定年齢を超えたため未受診とするが園訪問で現状把握できている。 健診の場で保健師や言語聴覚士、保育士など多職種で親子を観察し、言葉や発達の相談や保健指導を実施。対象児の半数以上が何らかのフォローが必要となっており、親カウンセリング事業、言語聴覚士の個別相談、園訪問等で継続対応している。 					
ACTION:今後の対応	子育て世代包括支援センターの母子保健コーディネーターと、地区担当保健師が連携しながら、妊娠期から継続した関わりを持ち、健診受診勧奨、健診時の育児相談対応および、事後フォローを行うなど切れ目のない支援を実施していく。					

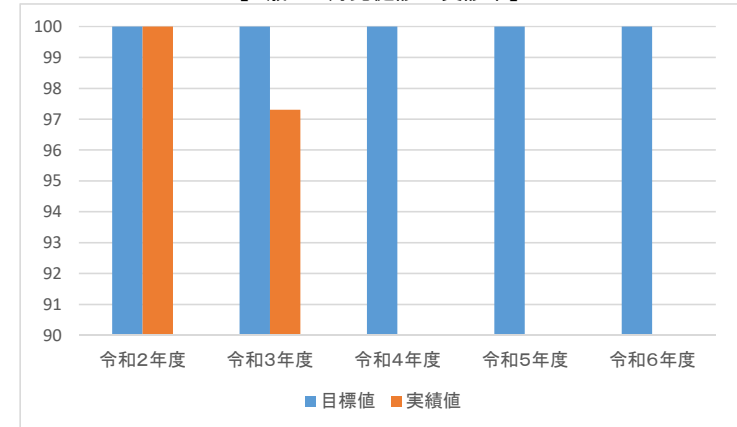
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【1歳6か月児健診の受診率】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

7

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	(イ)	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進				
項目	★	3歳児健診の受診率				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
ほけん福祉課	★3歳児健診の受診率	100	%	98.1	%	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	100	100	100	100	100	%
実績値	98.6	96				%
目標に対する達成率	99%	96%				単年度目標
基準値に対する増減率	1%	-2%				
評価	△	△				
PLAN:取組内容	母子保健事業の充実(乳幼児健診)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	多職種による乳幼児健診を実施し、乳幼児の発育・発達状況を確認するとともに、育児不安を抱く親を把握し、助言を行いながら個々の子育て家庭に寄り添った支援を実施した。					
CHECK:分析	<ul style="list-style-type: none"> ・健診未受診者に保健師の訪問等により児の状態を確認するとともに、健診受診勧奨を行い受診につなげた。未受診者5名中1名は転出、2名は令和4年度再勧奨予定、その他2名は法定年齢を超えたため未受診とするが、園訪問で現状把握できている。 ・健診の場では、保健師や言語聴覚士、保育士など多職種で親子を観察し、言葉や発達の相談や保健指導を実施。対象児の半数以上が何らかのフォローが必要となっており、親カウンセリング事業、言語聴覚士の個別相談、園訪問等で継続対応している。 					
ACTION:今後の対応	子育て世代包括支援センターの母子保健コーディネーターと、地区担当保健師が連携しながら、妊娠期から継続した関わりを持ち、健診受診勧奨、健診時の育児相談対応および、事後フォローを行うなど切れ目のない支援を実施していく。					

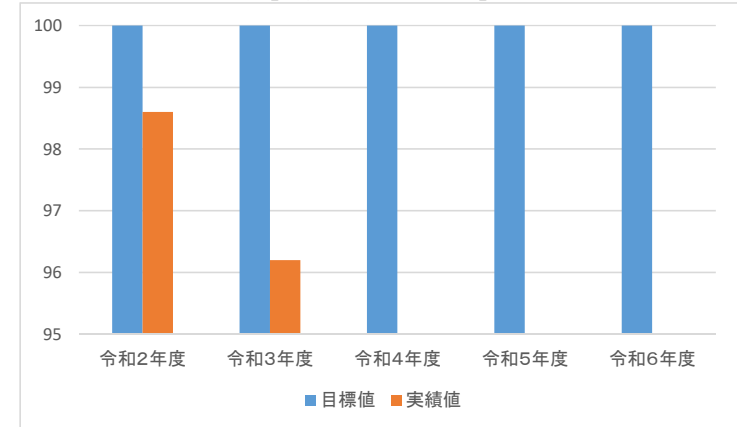
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【3歳児健診の受診率】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

8

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	(2)	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進				
項目	★	児童に係る相談・通報件数(虐待又は虐待のおそれのある通告連絡含む)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★児童に係る相談・通報件数(虐待又は虐待のおそれのある通告連絡含む)		1,300	件(年平均)以下		1,384 件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	件(年平均)以下
実績値	1,219	1,017				件
目標に対する達成率	-6%	78%				単年度目標
基準値に対する増減率	-12%	-27%				
評価	◎	◎				
PLAN:取組内容	児童に係る相談・通報件数(虐待又は虐待のおそれのある通告連絡含む。) 子どもや保護者等からの相談を受け付け、福祉、保健、医療、教育等の関係機関と連携して、子どもの福祉に関する支援業務を行う。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	1,017件 ①実情の把握 ②関係機関と情報共有し、支援方針を共有 ③保護者や子どもへの面談等、継続的な支援を実施					
CHECK:分析	課題の把握に努め、関係機関と連携して対象家庭への支援を行うなど、養育状況がより良くなるよう注力した。					
ACTION:今後の対応	教育、保健、福祉、医療等の関係機関と緊密に連携し、様々な社会資源を活用して、養育状況の改善に向けた支援を実施する。					

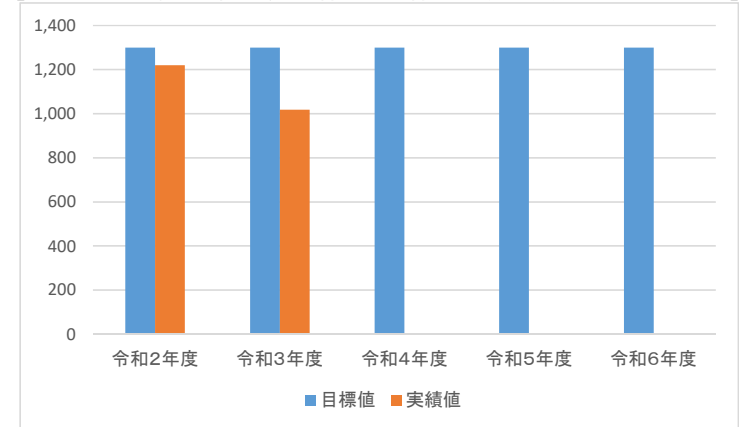
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【児童に係る相談・通報件数(虐待又は虐待のおそれのある通告連絡含む)】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

9

基本目標	3 結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)(2) 誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進・女性の活躍の場を拡大する				
具体的な施策	(ア) 安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築・女性の活躍の場を拡大する				
項目	②① 妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進・働き続けられるための環境の整備				
項目	★ 延長保育(開所時間が11時間を超える保育所等)の実施				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度
	令和6年度				実績等
教育委員会	★延長保育(開所時間が11時間を超える保育所等)の実施		3	箇所以上	3 箇所
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	3	3	3	3	3
実績値	3	3			
目標に対する達成率	100%	100%			
基準値に対する増減率	0%	0%			
評価	○	○			
PLAN:取組内容	延長保育(開所時間が11時間を超える保育所等)の実施				
DO:実績 (事業内容等を記載)	伊野保育園、あいの保育園、神谷保育園において実施				
CHECK:分析	延長保育実施により、保護者の就労状況に沿った保育園での受け入れを行い、子育て支援の充実を図った。				
ACTION:今後の対応	保護者のニーズ及び提供体制により実施を検討する。				

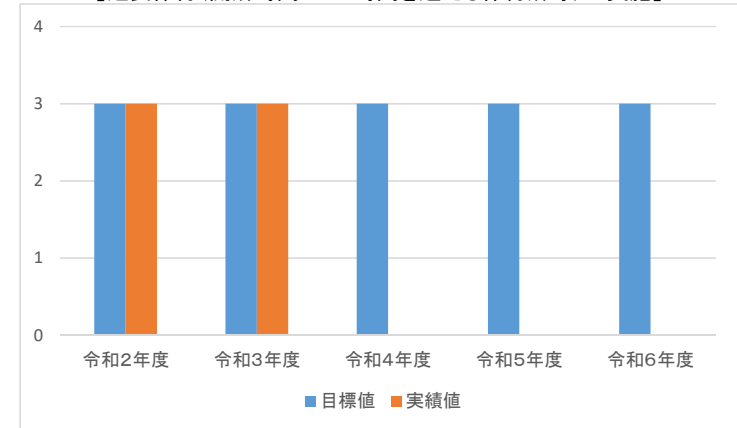
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【延長保育(開所時間が11時間を超える保育所等)の実施】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

10

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)(2)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進・女性の活躍の場を拡大する				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築・女性の活躍の場を拡大する				
	②①	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進・働き続けられるための環境の整備				
項目	★	乳児保育の実施				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★乳児保育の実施	6	箇所以上	6	箇所	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	6	6	6	6	6	箇所以上
実績値	6	6				箇所
目標に対する達成率	100%	100%				単年度目標
基準値に対する増減率	0%	0%				
評価	○	○				
PLAN:取組内容	乳児保育の実施					
DO:実績 (事業内容等を記載)	伊野保育園、あいの保育園、天神保育園、神谷保育園、認定こども園えだがわ、認定こども園ごほくにおいて実施					
CHECK:分析	共働き世帯の増加により、乳児保育へのニーズが高まっている。乳児保育を6園で実施し、受け入れ体制の充実を図った。					
ACTION:今後の対応	引き続き、保護者のニーズに沿った支援体制を検討する。					

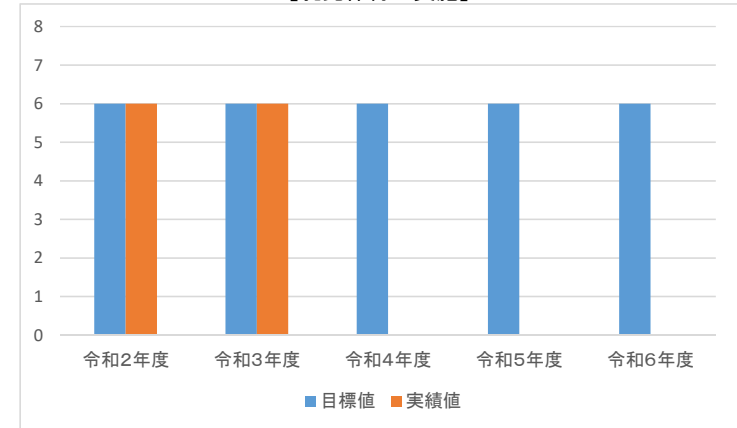
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【乳児保育の実施】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

11

基本目標	3 結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)(2) 誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進・女性の活躍の場を拡大する				
具体的な施策	(ア) 安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築・女性の活躍の場を拡大する				
項目	②① 妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進・働き続けられるための環境の整備				
担当課	★ 一時預かり事業				
教育委員会	重要業績評価指標(KPI)			基準値:令和元年度	
	令和6年度			実績等	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	2	2	2	2	2
実績値	2	2			
目標に対する達成率	100%	100%			
基準値に対する増減率	0%	0%			
評価	○	○			
PLAN:取組内容	一時預かり事業				
DO:実績 (事業内容等を記載)	あいの保育園、認定こども園えだがわにおいて実施				
CHECK:分析	一時的に家庭での保育が困難となる場合や、保護者の育児疲れ等により一時預かり事業への利用ニーズが高まっている。一時預かり事業を2園で実施し、受け入れ体制の充実を図った。				
ACTION:今後の対応	幼稚園における保護者の子育てと就労の両立支援を目的に、令和4年度より伊野幼稚園において一時預かり事業を実施する。				

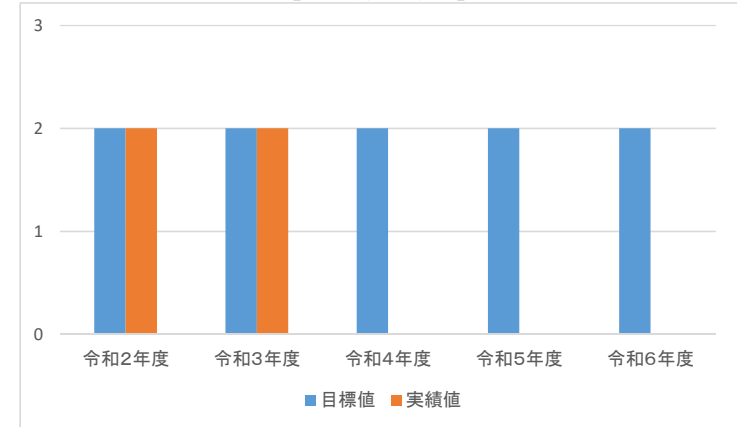
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【一時預かり事業】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

12

基本目標	3 結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する					
基本的方向	(1)(2) 誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進・女性の活躍の場を拡大する					
具体的な施策	(ア) 安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築・女性の活躍の場を拡大する					
	②① 妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進・働き続けられるための環境の整備					
項目	★ 地域子育て支援拠点事業の実施					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★地域子育て支援拠点事業の実施		1	箇所	1	箇所
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	1	1	1	1	1	箇所
実績値	1	1				箇所
目標に対する達成率	100%	100%				単年度目標
基準値に対する増減率	0%	0%				
評価	○	○				
PLAN:取組内容	地域子育て支援拠点事業 妊娠期から子育て家庭への支援の充実。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	地域子育て支援拠点として、「ぐりぐらひろば」1カ所をいの町総合健康センターに開設。(妊婦、子育て家庭を対象とした交流の場の提供と日常的な見守り。)保育士を配置し、妊娠期から子育て期までの段階に応じた、きめ細かな支援を行い、出産や育児への不安を軽減する取り組みを展開した。 また、関係機関や地域と連携し、子育て家庭を地域ぐるみで見守る支援体制の整備を図った。					
CHECK:分析	町内唯一の子育て支援拠点であり、特に未就園児の子育て家庭を包括的に支援する場として重要な事業である。新型コロナウイルス感染症の流行により、人との交流の機会が減少している今だからこそ、妊婦や子育て家庭が他者と出会い交流できる仕組みを、意図的に作りだすことが求められている。					
ACTION:今後の対応	引き続き、妊娠期から子育て期までの包括的な支援を目指して、保健・福祉と連携した切れ目のない子育て支援体制を強化していく。					

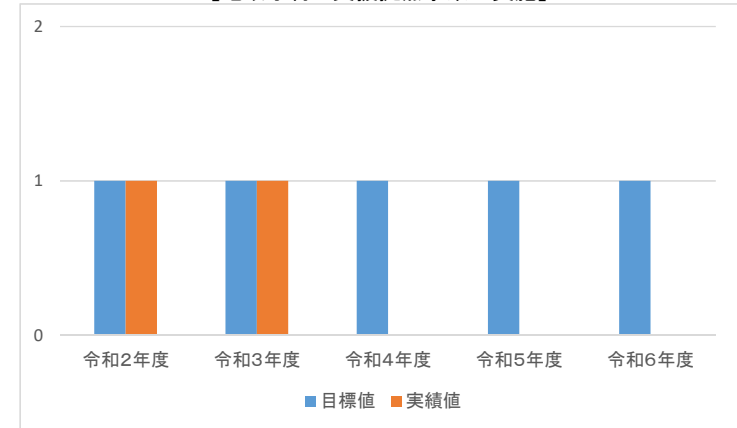
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【地域子育て支援拠点事業の実施】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

13

基本目標	3 結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する					
基本的方向	(1)(2) 誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進・女性の活躍の場を拡大する					
具体的な施策	(ア) 安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築・女性の活躍の場を拡大する					
項目	②① 妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進・働き続けられるための環境の整備					
担当課	★ 放課後児童クラブへの主任支援員配置					
教育委員会	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2	2	2	2	2	名以上
実績値	2	2				名
目標に対する達成率	100%	100%				単年度目標
基準値に対する増減率	0%	0%				
評価	○	○				
PLAN:取組内容	令和6年度までの間 児童クラブへ主任支援員を2名以上配置					
DO:実績 (事業内容等を記載)	伊野小学校ひまわり児童会と枝川小学校さくらんぼ児童会に1名ずつ配置できた。					
CHECK:分析	主任支援員を配置することにより、パソコンを使用した簡易な事務処理やおやつの買い出し、学校との情報共有を他の支援員が出勤する14時より前に行うことができ、スムーズなクラブ運営をすることが可能となっている(ひまわり児童会やさくらんぼ児童会のような大規模な児童クラブの場合、14時以降にこのような業務を行うと児童の育成支援に支障が出る。)					
ACTION:今後の対応	現在主任支援員が配置されている児童クラブには継続して主任支援員を配置することで、スムーズなクラブ運営を継続していく。また、現在主任支援員が配置されていない小規模な児童クラブにおいてもクラブ運営をスムーズに行っていくために配置を検討していく。					

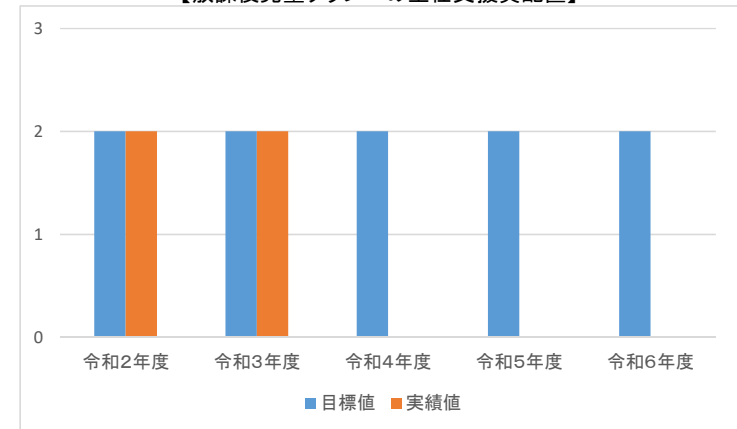
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【放課後児童クラブへの主任支援員配置】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

14

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)(2)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進・女性の活躍の場を拡大する				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築・女性の活躍の場を拡大する				
	(2)①	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進・働き続けられるための環境の整備				
項目	★	放課後児童クラブ常勤支援員の専門資格取得者率				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★放課後児童クラブ常勤支援員の専門資格取得者率				50	%以上
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	50	50	50	50	50	%以上
実績値	55	81				%
目標に対する達成率	110%	162%				単年度目標
基準値に対する増減率	-	-				
評価	◎	◎				
PLAN: 取組内容	令和6年度までの間 直営の放課後児童クラブにおける常勤支援員の放課後児童支援員認定資格取得者を15名以上					
DO: 実績 (事業内容等を記載)			常勤支援員数	認定資格取得者数	※令和4年3月31日現在	
	ひまわり児童会(伊野小)	6	4	取得率 81.0%		
	なのはな児童会(伊野小)	3	2			
	さくらんぼ児童会(枝川小)	6	6			
	ホットハウス児童会(枝川小)	2	2			
	たんぼ児童会(川内小)	2	2			
	むささび児童会(吾北小)	2	1			
	合計	21	17			
CHECK: 分析	高知県が開催する放課後児童支援員認定資格研修は年1回(4日間)開催され、令和3年度は受講要件を満たす5名(補助支援員除く)が受講し、資格を取得した。					
ACTION: 今後の対応	受講要件を満たす者には受講するよう、面談の機会等を活用し周知徹底する。また、常勤支援員に限らず補助支援員に対しても、研修の案内を行い、受講を依頼する。					

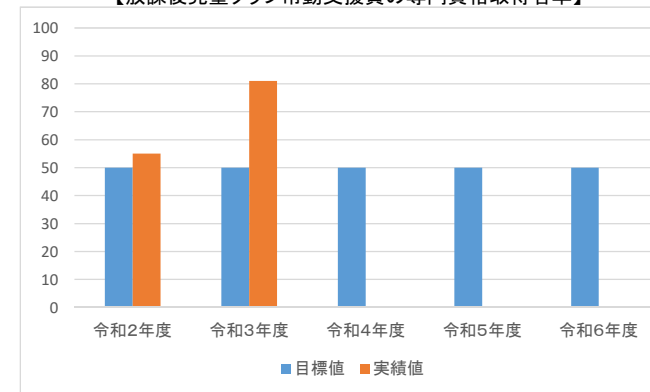
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【放課後児童クラブ常勤支援員の専門資格取得者率】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

15

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)(2)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進・女性の活躍の場を拡大する				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築・女性の活躍の場を拡大する				
	(2)(1)	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進・働き続けられるための環境の整備				
項目	★	放課後子ども教室開設数(週2回以上開設箇所)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★放課後子ども教室開設数(週2回以上開設箇所)	5	箇所以上	5	箇所	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	5	5	5	5	5	箇所以上
実績値	5	5				箇所
目標に対する達成率	100%	100%				単年度目標
基準値に対する増減率	0%	0%				
評価	○	○				
PLAN:取組内容	令和6年度までの間 週2回以上開設箇所5箇所以上					
DO:実績 (事業内容等を記載)	枝川小学校放課後子ども教室・伊野南小学校放課後子ども教室・伊野小学校放課後子ども教室・神谷小学校放課後子ども教室・長沢小学校放課後子ども教室において週2回以上の開設を行った。					
CHECK:分析	実績のとおり、5か所において週2回以上の開設を行い、放課後における学習活動等の充実を図ることができた。					
ACTION:今後の対応	今後においても継続して放課後学習活動の充実を図っていく。現状の取組みが継続できる体制の確保と予算措置を継続して確保していきたい。					

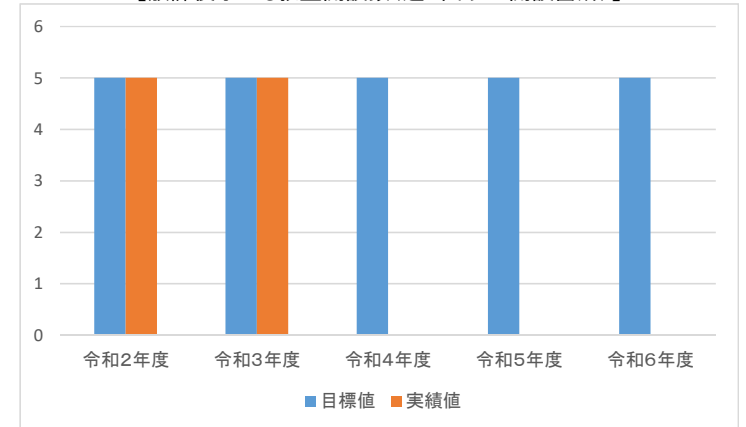
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【放課後子ども教室開設数(週2回以上開設箇所)】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

16

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	(イ)	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進				
項目	★	4か月児健診受診者アンケート ブックスタート絵本活用率				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★4か月児健診受診者アンケート ブックスタート絵本活用率	90	%以上	97.8	%	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	90	90	90	90	90	%以上
実績値	0	0				%
目標に対する達成率	0%	0%				単年度目標
基準値に対する増減率	-100%	-100%				
評価	×	評価なし				
PLAN:取組内容	<p>■ 妊婦、乳幼児親子への読み聞かせや本との出会い事業の推進 (心をそだてる人財育成推進事業)</p>					
DO:実績 (事業内容等を記載)	<p>プレママほっとルームへの配本 町内小中学校図書室支援 ブックスタートセット配布(ほけん福祉課に依頼) 【休止】 乳幼児健診訪問(ブックスタート・アンケート) 町内乳幼児健診会場訪問(読み聞かせや読書案内) ぐりぐらひろば訪問(おはなし会・読書相談・絵本紹介)</p>					
CHECK:分析	<p>コロナ対策により乳幼児健診に図書館が参加できなかったため、配布をほけん福祉課に依頼した。また、健診の時間短縮もあり、会場でのアンケートは実施できていないため、絵本活用率は検証できなかった。4か月児健診対象者118名中111名に配布している。</p>					
ACTION:今後の対応	<p>いの町に生まれ育つすべての子どもにブックスタートを実施することを目標に、コロナ禍での事業実施について関係機関と連携のもと調整を図る。</p>					

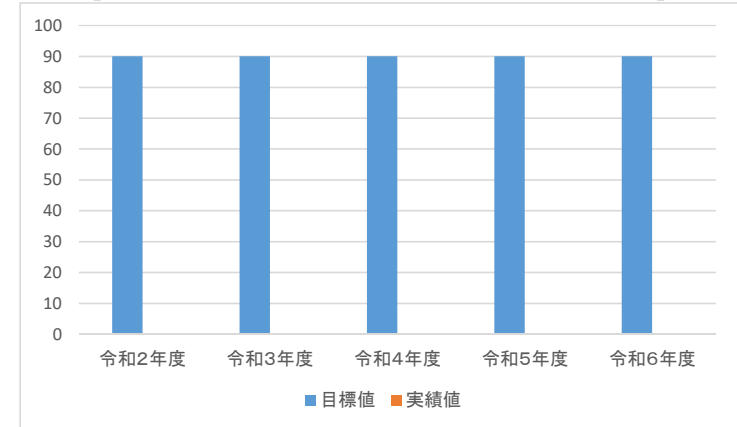
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【4か月児健診受診者アンケート ブックスタート絵本活用率】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	<p>Q. 評価が×となっているが、進捗なし・事業終了なのか？本の配布ができており、アンケートが実施できていないだけである。評価の見直しを検討してはどうか？</p> <p>A. 「×」から「評価なし」に変更</p>
総合評価	評価なし

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

17

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	(2)	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進				
項目	★	4か月児健診受診者アンケート 親子の触れ合いに役立つと感じた割合				
担当課	重要業績評価指標(KPI)			基準値: 令和元年度		
	令和6年度			実績等		
教育委員会	★4か月児健診受診者アンケート 親子の触れ合いに役立つと感じた割合	100	%	100	%	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		100	100	100	100	%
実績値		0	0			%
目標に対する達成率		0%	0%			単年度目標
基準値に対する増減率		-100%	-100%			
評価		×	評価なし			
PLAN: 取組内容	<p>■ 妊婦、乳幼児親子への読み聞かせや本との出会い事業の推進 (心をそだてる人財育成推進事業)</p>					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	<p>プレママほっとルームへの配本 町内小中学校図書室支援 ブックスタートセット配布(ほけん福祉課に依頼) 【休止】 乳幼児健診訪問(ブックスタート・アンケート) 町内乳幼児健診会場訪問(読み聞かせや読書案内) ぐりぐらひろば訪問(おはなし会・読書相談・絵本紹介)</p>					
CHECK: 分析	<p>コロナ対策により健診会場でのアンケートが実施できなかったため「絵本が親子の触れ合いに役立つ」と感じた保護者の割合は検証できなかった。 前年度まで増加傾向にあった0～6歳児の新規登録者数は大幅に減少している。(3年度30名・2年度60名・元年度113名) 現在、休止されている乳幼児健診や子育て支援センターでの読書支援が、図書館利用のきっかけになっていたことも考えられ、コロナ禍での事業実施方法を検討しなければならない。</p>					
ACTION: 今後の対応	<p>図書館は安心して来館・利用できる環境を整備し、コロナ禍でも継続できる読書支援事業を展開する。また、健診に参加できない際のブックスタート後のフォローやアンケートの実施方法も、検討していく。</p>					

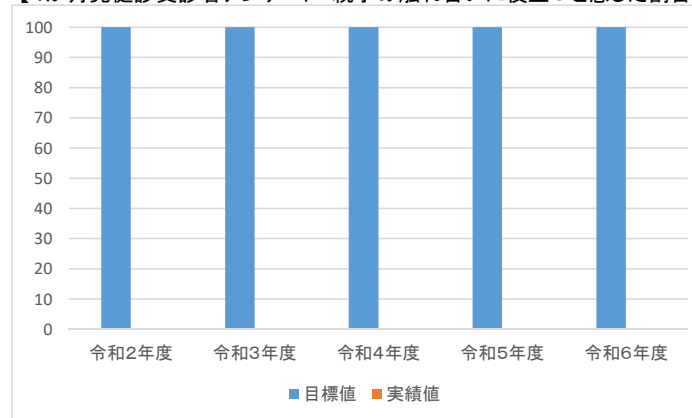
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【4か月児健診受診者アンケート 親子の触れ合いに役立つと感じた割合】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	<p>Q. 評価が×となっているが、進捗なし・事業終了なのか？本の配布ができており、アンケートが実施できていないだけである。評価の見直しを検討してはどうか？</p> <p>A. 「×」から「評価なし」に変更</p>
総合評価	評価なし

基本目標4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

基本的方向	連番	担当課	具体的な施策(詳細)	単位	R2目標値	R2実績値	R3目標値	R3実績値	総合評価	R6(最終年度)時点
(1) 中心市街地内の商店街通りエリアでにぎわい創出事業を展開し、若者流出を食い止め、まちなかに活力を取り戻す取組の推進強化を図る	1	産業経済課	中心市街地 新規開業事業所数	事業所	2	2	2	8	◎	7
	2	産業経済課	中心市街地内商店街通りの通行量(定点5ヵ所調査合計値)	平日	人	-	-	871	◎	928
休日				人	-	-	647	705		
(2) 中山間地域の小さな拠点「集落活動センター」の整備促進、地域の資源や特性を生かした産業づくり支援、生活支援 (ア) 中山間地域の維持・創生	3	総合政策課・吾北産業課・本川産業建設課	集落活動センターの開設	箇所	2	2	2	2	○	3
	4	ほけん福祉課	あったかふれあいセンター等の整備 拠点	箇所	2	2	2	2	○	2
	5	ほけん福祉課	あったかふれあいセンター等の整備 サテライト	箇所	3	3	3	3	○	3
	6	本川住民福祉課	本川地区内の路線バス維持に向けた雇用	人	3	4	3	6	◎	3

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標4

連番

1

基本目標	4	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる				
基本的方向	(1)	中心市街地内の商店街通りエリアでにぎわい創出事業を展開し、若者流出を食い止め、まちなかに活力を取り戻す取組の推進強化を図る				
具体的な施策	(ア)	中心市街地内の商店街通りエリアににぎわい創出推進の強化				
	①	商店街通りエリアににぎわい創出推進強化				
項目	★	中心市街地 新規開業事業所数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★中心市街地 新規開業事業所数	7	事業所	7	事業所	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2	2	1	1	1	事業所
実績値	2	8				事業所
目標に対する達成率	100%	400%				複数年度
基準値に対する増減率	-71%	14%				
評価	○	◎				
PLAN:取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 企業立地の取り組み（いの町産業振興奨励金）等 ■ いの町空き店舗対策家賃補助助成事業（地方への移住促進・創業支援事業） ■ いの町中心市街地活性化計画を策定（H30.12月） 					
DO:実績 (事業内容等を記載)	いの町産業振興奨励金(高知食糧(株)たまごセンター)を実施した。 いの町空き店舗対策家賃補助助成事業(4件:GOOD FIVE、コクバンカフェ、MATE、ラグーン)を実施した。いの町ホームページに支援内容を引き続き掲載した。 新規開業(8件:ラグーン、大国薬局、MATE、大国診療所、スキップ代行、渋谷(訪問介護)、絵画教室(浜田公望)、楽屋) まちづくりに関するLLPの立ち上げによる意向調査及び、商工会による小規模事業者支援推進事業で実施した事業者等へのアンケートを実施した。					
CHECK:分析	まちづくりに関するLLPや商工会で実施した調査により、中心市街地エリアの事業者の意見のすい上げをし、新たなマッチングシステムが整いつつある。					
ACTION:今後の対応	出店の要望はあるが、使える空き店舗が少ないためその掘り起しが必要であり、今後もれんげいこうちや商工会等と連携して情報収集や情報発信力を向上させる。					

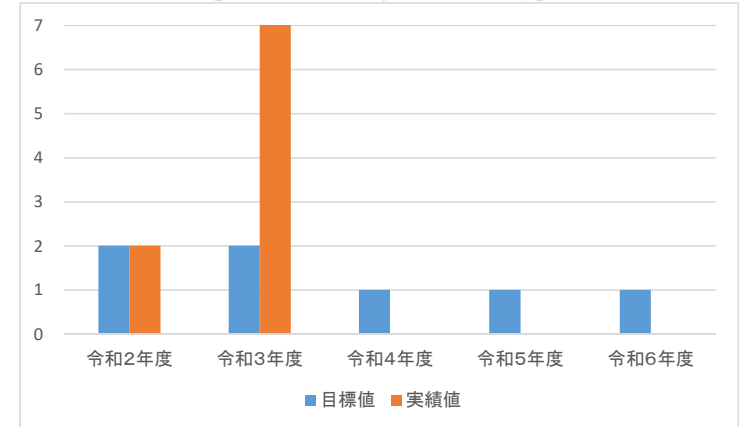
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【中心市街地 新規開業事業所数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標4 連番 2

基本目標	4	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる				
基本的方向	(1)	中心市街地内の商店街通りエリアでにぎわい創出事業を展開し、若者流出を食い止め、まちなかに活力を取り戻す取組の推進強化を図る				
具体的な施策	(ア)	中心市街地内の商店街通りエリアににぎわい創出推進の強化				
	①	商店街通りエリアににぎわい創出推進強化				
項目	★	中心市街地内商店街通りの通行量(定点5か所調査合計値)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★中心市街地内商店街通りの通行量(定点5か所調査合計値)	平日928人	休日705人	人		-
		人	人	人		人
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値(平日)		-	871	890	909	928
実績値(平日)		-	1326			
目標値(休日)		-	647	666	685	705
実績値(休日)		-	1162			
目標に対する達成率		-	164%			
基準値に対する増減率		-	-	-	-	-
評価			◎			
PLAN: 取組内容		①商店街活性化町有地活用事業・・・商店街内の町有地の整備 ②住宅店舗分離可能性調査 新規開業者希望者と空き店舗等所有者のマッチング作業を具体化するため、玄関やトイレの分離、間仕切りの設置、概算経費の算出等の調査委託事業を実施する ③空き店舗家賃支援事業 空き店舗を活用した新規出店者に対し、家賃の補助を行うことで新規出店を促す ④新規開業支援小規模改修事業 空き店舗等の玄関分離、トイレ設備増設等の改築整備の補助することで新規出店を後押しする				
DO: 実績 (事業内容等を記載)		①商店街内の町有地を多目的スペースとして整備を実施した。・・・R4.3月完成 ②中心市街地エリアの空き店舗、空き家、空きスペースについて、所有者等の意向の聞き取り調査を行い、活用方法の提案を行った。・・・LLPIに調査委託、商工会が小規模事業者実態調査を実施 ③中心市街地エリアで空き店舗を活用して、新規出店した事業者に対し、1/2、月50,000円を上限に補助を行った。・・・補助件数4件、補助金額385,000円 ④要綱を策定し、募集を行った。・・・補助件数0件				
CHECK: 分析		①町有地の整備については予定通り完成した。 ②調査やアンケートを実施していく中で、想定していなかった情報を得ることができたり、行政や商工会等と所有者の思いの違いなどを知ることができた。 ③家賃補助があることで、中心市街地エリアへ出店する一つの要因となっていると感じる。 ④空き店舗の所有者に声をかけて回ったが補助金を使いたいという要望がなく、補助要件等の見直しが必要である。				
ACTION: 今後の対応		①商店街事業者が主催するイベントや地域の集まりなどに積極的に活用していく。 ②R3年度に調査した内容を基に、改修できる空き店舗等の活用方法の検討を進めていく。新たな空き店舗の掘り起こしも並行して行う。 ③一定、新規出店のきっかけとなっているため継続して実施していく。 ④R3年度に調査した②の聞き取り内容などから、改正など必要な協議を行い、活用しやすい補助金としていく。				

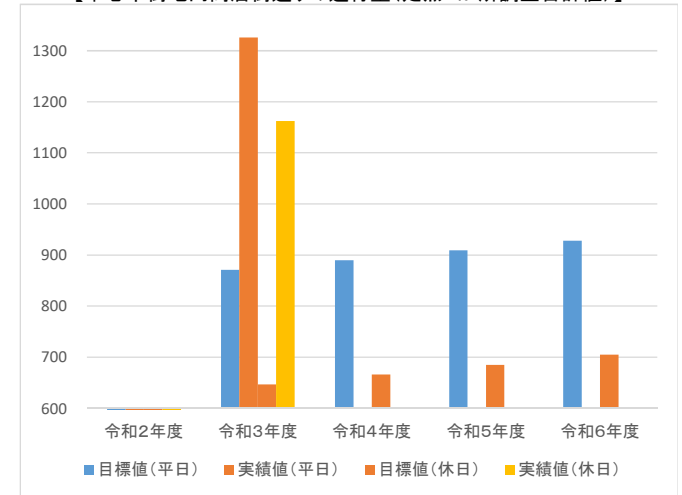
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【中心市街地内商店街通りの通行量(定点5か所調査合計値)】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標4 連番 3

基本目標	4	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる				
基本的方向	(1)	中山間地域の小さな拠点「集落活動センター」の整備促進、地域の資源や特性を生かした産業づくり支援、生活支援				
具体的な施策	(ア)	中山間地域の維持・創生				
	①	小さな拠点の開設・強化				
項目	★	集落活動センターの開設数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課・吾北産業課・本川産業建設課	★集落活動センターの開設数	3	か所	2	か所	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		2	2	2	2	3
実績値		2	2			
目標に対する達成率		100%	100%			
基準値に対する増減率		0%	0%			
評価		○	○			
PLAN: 取組内容	中山間地域の維持・創生に向け、小さな拠点として「集落活動センター(地域の支え合いや活性化の拠点)の整備促進や小規模で多機能な高知型福祉の支援拠点として、あったかふれあいセンターの整備・機能強化を図るとともに、地域の資源や特性を活かした産業づくり支援を促進する。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	【柳野】 令和3年度はイタダリの生育状況が順調で、出荷量が前年度の倍となった。 【氷室の里】 原木まいたけ、原木なめこ等の販売を高知市の金高堂、日曜市、西条市のいとまちマルシェなどで計11日間行った。 また、新たな取組として森林軌道跡を活用した体験イベントを開催し、7名を誘客した。					
CHECK: 分析	【柳野】 直売施設の運営、配食サービス、イタダリの栽培等、施設・環境を十分に活用した取り組みがなされている。イベントは、新型コロナウイルス感染症の影響により全て中止となった。 【氷室の里】 今年度はまいたけの増産を目指したが、気候が安定しなかったため収穫量が少なく、前年に比較し出荷量・販売額ともに約8割に減少した。 森林軌道跡などの地域資源を活用した体験イベントについては、一定の潜在顧客があることが分かったため、顧客ニーズにあった形に磨き上げを図る。					
ACTION: 今後の対応	【柳野】 令和4年度に、HACCPに対応した加工場の改修をし、あわせて新商品の開発に向けた検討をおこなう。引き続き高知県地域支援企画員・中央西農業振興センターと連携し支援していく。 【氷室の里】 「まいたけ」を中心とする「きのこ」の生産、販売、流通体制を確立し、「きのこの里」として当該地域が広く認知されることを目指す。定期的な集いの開催やイベント参加・出店・試食販売、営業先の開拓や本川じゃがいもの栽培・販売をおこなう。 また、地域資源を活用した体験イベントを企画し、地域の魅力を発信、関係人口の増加につなげる。					

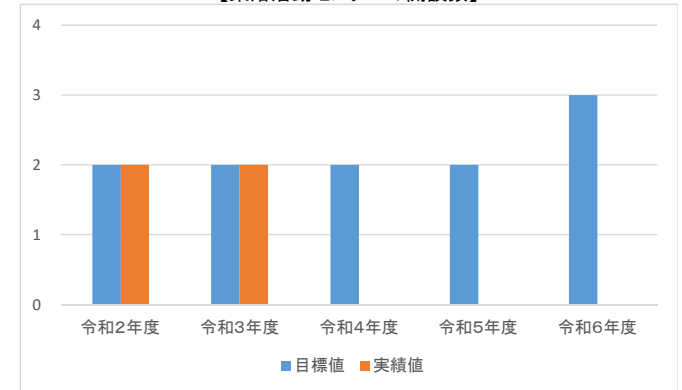
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【集落活動センターの開設数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	集落活動センター柳野においては、今後インターネットを活用したPRも実施したいと考えている。
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標4

連番 4

基本目標	4	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる				
基本的方向	(2)	中山間地域の小さな拠点「集落活動センター」の整備促進、地域の資源や特性を生かした産業づくり支援、生活支援				
具体的な施策	(ア)	中山間地域の維持・創生				
	(1)	小さな拠点の開設・強化				
項目	★	あったかふれあいセンター等の整備 拠点				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
ほけん福祉課	★あったかふれあいセンター等の整備 拠点	2	か所	2	か所	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2	2	2	2	2	か所
実績値	2	2				か所
目標に対する達成率	100%	100%				複数年度 目標
基準値に対する増減率	0%	0%				
評価	○	○				
PLAN:取組内容	<p>【5か年度の目標】 子どもから高齢者まで年齢や障害の有無に関わらず、誰もが気軽に集える場所を提供するとともに、地域住民の健康づくり、生きがいづくり活動や要配慮者宅の訪問、相談、つなぎ、生活支援を行う。集いでは、介護予防体操や脳トレ、認知症カフェ、創作活動、講師を招いての講義などさまざまな行事を行う。なお、3年度における重点目標としては下記を掲げる。 【伊野】利用の少ない障害者や子どもなど、幅広い方が利用できる居場所づくりに取り組む。 【吾北】訪問を強化</p>					
DO:実績 (事業内容等を記載)	<p>【伊野】 町ほけん福祉課専門職と連携を図りながら、精神デイケアの開催場所の提供に努めるとともに、閉じこもりがちな中堅、若年代が就労体験できる場所としての機能を果たした。また、学生ボランティアの協力のもと、子どもの集いを開催し、多世代の交流が出来た。 【吾北】 あったかふれあいセンターが関わったことのない地域の実状を知るために、民生委員児童委員協議会とも連携し新たな方への訪問を実施した(23件)。他にも包括よりつながれた訪問(4件)訪問を行った。</p>					
CHECK:分析	<p>【伊野】従来からの高齢者の集いととともに、閉じこもりがちな中堅世代のための居場所や活動できる場所としての機能を果たしたことにより、あったかふれあいセンターが世代や属性を問わず活動できる場所となった。 【吾北】地域の特性を考え、訪問活動は必須である。中山間地域で高齢者が孤立しないように、訪問の強化に努めたことは本人のみならず、地域の事情を把握することにつながった。</p>					
ACTION:今後の対応	<p>あったかふれあいセンター事業については、令和4年度より重層的支援体制整備事業の交付金対象事業となり、従来より増して、訪問、相談、つなぎといった活動や制度の狭間にいる人の支援が必要となる。属性などにとらわれず、かつ、それぞれの地域の特性を考慮しながら、包括的に支援できる体制づくりの強化を図る必要がある。</p>					

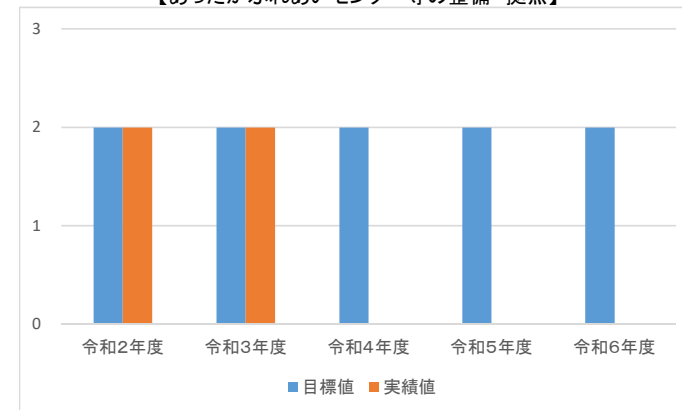
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【あったかふれあいセンター等の整備 拠点】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	○ 目標値と同等

基本目標	4	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる				
基本的方向	(2)	中山間地域の小さな拠点「集落活動センター」等の整備促進、地域の資源や特性を生かした産業づくり支援、生活支援				
具体的な施策	(ア)	中山間地域の維持・創生				
	①	小さな拠点の開設・強化				
項目	★	あったかふれあいセンター等の整備 サテライト				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
ほけん福祉課	★あったかふれあいセンター等の整備 サテライト	3	か所	3	か所	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	3	3	3	3	3	か所
実績値	3	3				か所
目標に対する達成率	100%	100%				複数年度 目標
基準値に対する増減率	0%	0%				
評価	○	○				
PLAN:取組内容	吾北地区における3地区の特性を把握したうえで、サテライトならではの様々な課題に対応できる活動を目指す。ニーズ調査において下八川、三水は地域の集まり(体操等)が少ないという声があったことを念頭に置き、介護予防の体操や創作活動などを行うと同時に、買い物支援など生活支援も行っていく。 また、高齢者のみならず、子どもの集いを開催し、世代間交流するなど、地域の高齢者が孤立しないような活動を行っていく。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	「集い」「訪問」「相談」「つなぎ」「生活支援」「交わる」について、各事業を実施。集いの場へ自力で参加できない利用者については送迎を行った。 【サテライト清水】 実施場所:清水公民館/日時:毎月第1・3火曜日 13:30~15:30 開催回数:18回(R1:15回) 【サテライト下八川】 実施場所:下八川公民館/日時:毎月第2木曜日 13:00~15:00 開催回数: 9回(R1:11回) 【サテライト三水】 実施場所:三水防災コミュニティ/日時:第4木曜日10:00~12:00 開催回数: 6回(R1:10回)					
CHECK:分析	昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症により活動の制限があったが、感染対策に努めて事業を実施でき良かった。 出張型集いを行うことは送迎時間が短くなることであり、車中の滞在時間が短く、感染症が流行している時期にはこういった地域出張型の集いの意義が一段と強まった。					
ACTION:今後の対応	吾北地区という中山間地域の中でもさらに距離が遠く、拠点(高岩)までの送迎時間が30分以上かかる過疎地域において、サテライトだからできることを模索しながら、事業を継続していきたい。また、送迎箇所が点在しているので引き続きサテライト清水では役場の公用車を1台借り送迎を実施していく。					

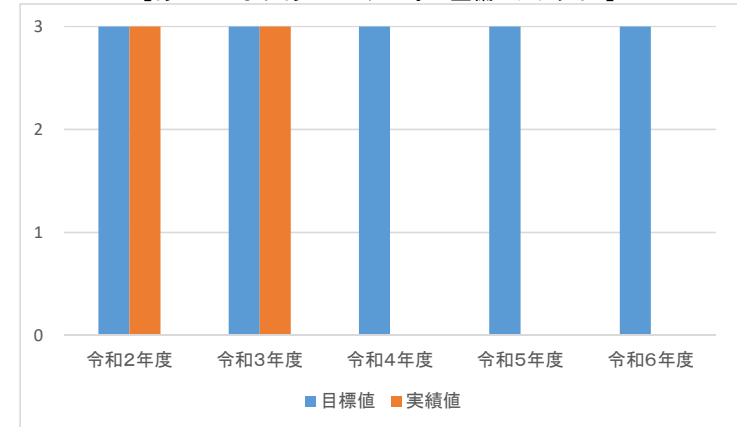
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【あったかふれあいセンター等の整備 サテライト】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標4

連番

6

基本目標	4	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる				
基本的方向	(2)	中山間地域の小さな拠点「集落活動センター」等の整備促進、地域の資源や特性を生かした産業づくり支援、生活支援				
具体的な施策	(ア)	中山間地域の維持・創生				
	②	中山間地域の資源や特性を生かした産業づくりの支援				
項目	★	本川地区の路線バス維持に向けた雇用				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
本川住民福祉課	★本川地区の路線バス維持に向けた雇用	3	人	3	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	3	3	3	3	3	人
実績値	4	6				人
目標に対する達成率	133%	200%				単年度
基準値に対する増減率	33%	100%				
評価	◎	◎				
PLAN:取組内容	市町村有償運送事業(長沢～寺川間・長沢～大森間)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	会計年度任用職員を中心とした6名体制で、円滑なバス運行ができた。					
CHECK:分析	地域住民にとってバス路線の存在は単なる移動手段にとどまらず、安心して地域で生活していく心のゆとりにつながり、有償運送事業による路線バスの維持は大きな意義がある。 また、それを担う運転手の雇用は、居住者の定着につながり、ひいては地域の活性化に寄与する。					
ACTION:今後の対応	高齢化で運転が困難になったり、運転免許証の自主返納者も増加するなか、受け皿となる交通手段として有償運送事業を継続していく。					

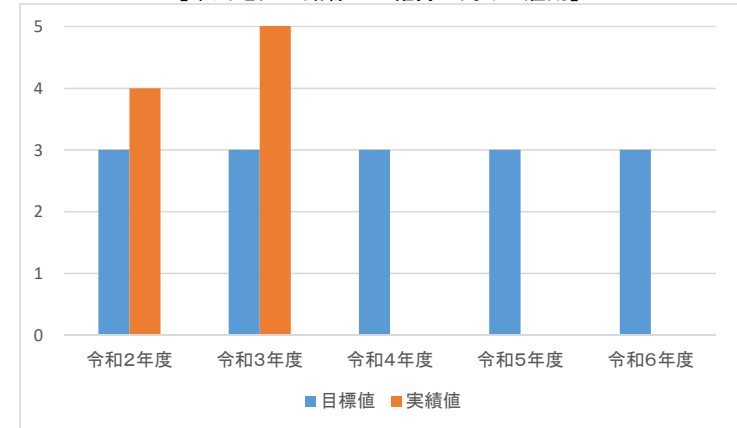
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【本川地区の路線バス維持に向けた雇用】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	◎ 目標値以上